

【証券コード:6728】

# 決算説明会 (2006年6月期)

2006年8月18日

株式会社 アルバック

## ◆ 将来見通しに関する記述についての注意事項

このプレゼンテーション資料で述べられている将来の当社に関する見通しは、現時点で知りうる情報をもとに作成されたものです。当社グループのお客様であるフラットパネルディスプレイ（FPD）・半導体・電子部品業界は技術革新のスピードが大変速く、競争の激しい業界です。

また、世界経済、為替レートの変動、FPD・半導体・電子部品の市況、設備投資の動向など、当社グループの業績に直接的・間接的に影響を与える様々な外部要因があります。したがって、実際の売上高および利益は、このプレゼンテーション資料に記載されている予想数値とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

## ◆ 本資料における表示方法について

数値： 単位未満四捨五入

比率： 百万円単位で計算後、単位未満四捨五入

- 2006年6月期連結業績の概要
- 市場環境
- 2007年6月期連結業績予想
- 中長期の事業戦略

# 会社概要

## ■ 事業内容

### ▶ 真空関連事業

- ディ스플레이及び電子部品製造装置：FPD（液晶、有機EL、PDP）や電子部品製造装置
- 半導体製造装置：メモリー、ロジック、化合物半導体等の半導体製造装置
- コンポーネント：真空ポンプ、計測器、電源などの真空機器
- その他：超高真空装置や真空熱処理炉など一般産業機器

### ▶ その他の事業

- 先端材料、表面解析装置、装置制御  
：スパッターターゲット材、ナノテク関連分析装置、制御システムなど

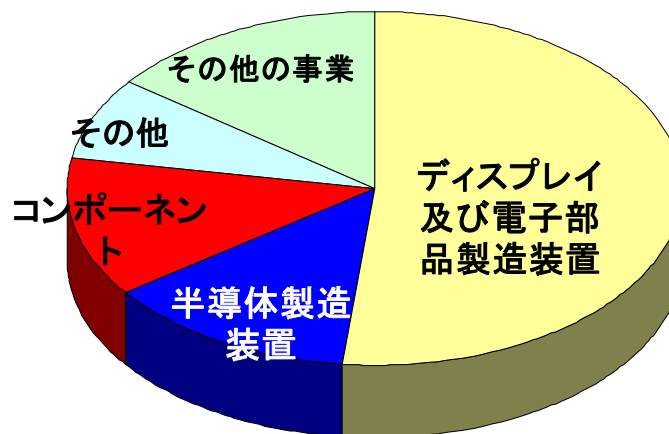
## ■ 06/6期実績（連結）

【単位：億円】

売上高	2,125
経常利益	148
当期純利益	81
純資産合計	876
従業員	5,150名

## ■ 品目別売上高構成比（連結）

【単位：億円】



<span style="display: inline-block; width: 15px; height: 15px; background-color: yellow; border: 1px solid black;"></span>	1,100 (52%)
<span style="display: inline-block; width: 15px; height: 15px; background-color: blue; border: 1px solid black;"></span>	279 (13%)
<span style="display: inline-block; width: 15px; height: 15px; background-color: red; border: 1px solid black;"></span>	276 (13%)
<span style="display: inline-block; width: 15px; height: 15px; background-color: cyan; border: 1px solid black;"></span>	156 (7%)
<span style="display: inline-block; width: 15px; height: 15px; background-color: lightgreen; border: 1px solid black;"></span>	313 (15%)

# 06/6期業績

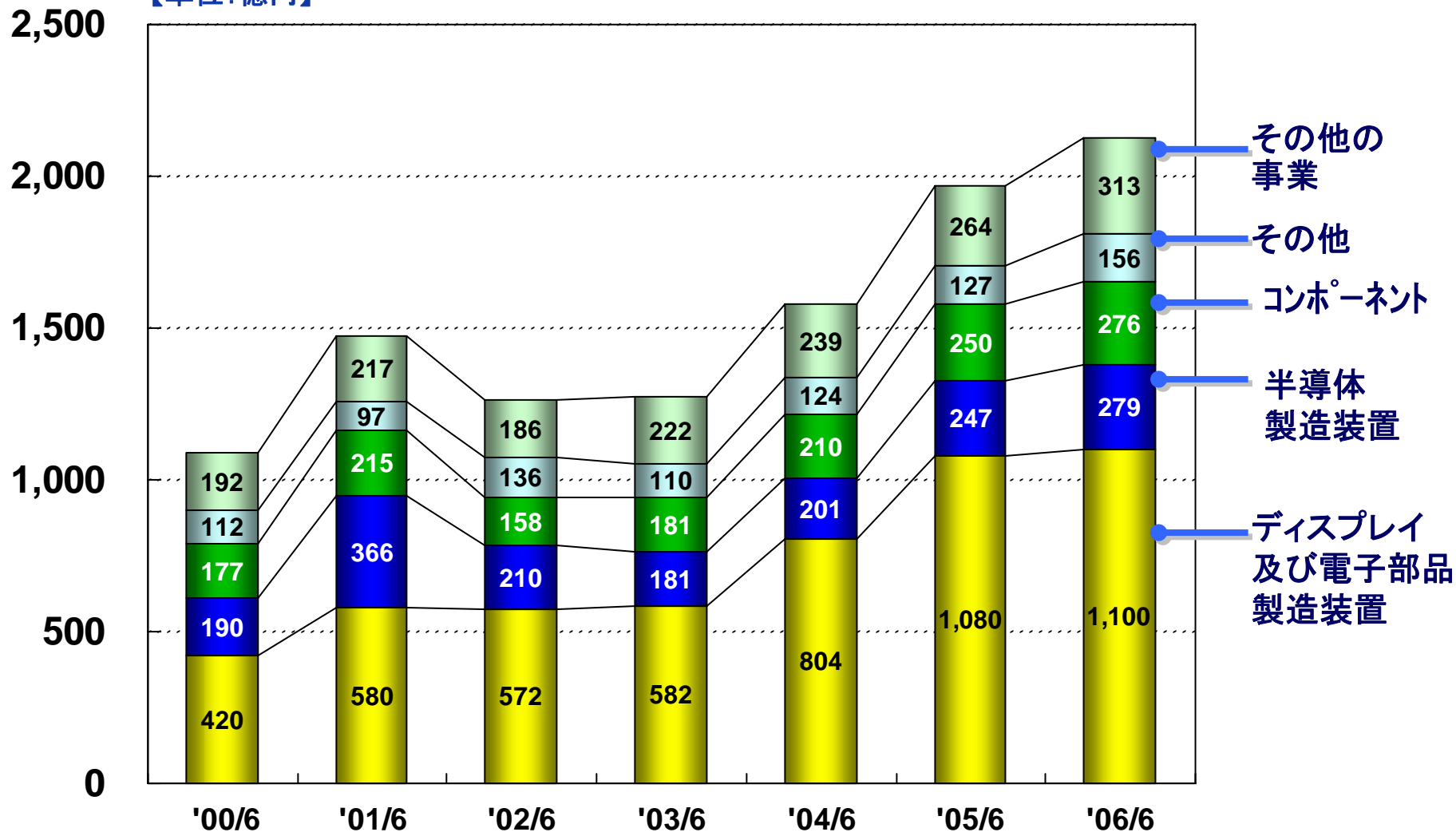
【単位:億円】

	04/6期	05/6期	06/6期	業績予想 (中間決算時発表)
受注高	1,782 (+ 21%)	2,062 (+16%)	2,360 (+14%)	2,260
売上高	1,579 (+24%)	1,968 (+25%)	2,125 (+8%)	2,100
営業利益	85 (+81%)	153 (+81%)	148 (-3%)	131
経常利益	73 (+103%)	124 (+71%)	148 (+19%)	126
当期純利益	40 (+135%)	71 (+81%)	81 (+13%)	71

【 ( )内は増減率、百万円単位で計算後、単位未満四捨五入】

# 品目別売上高実績

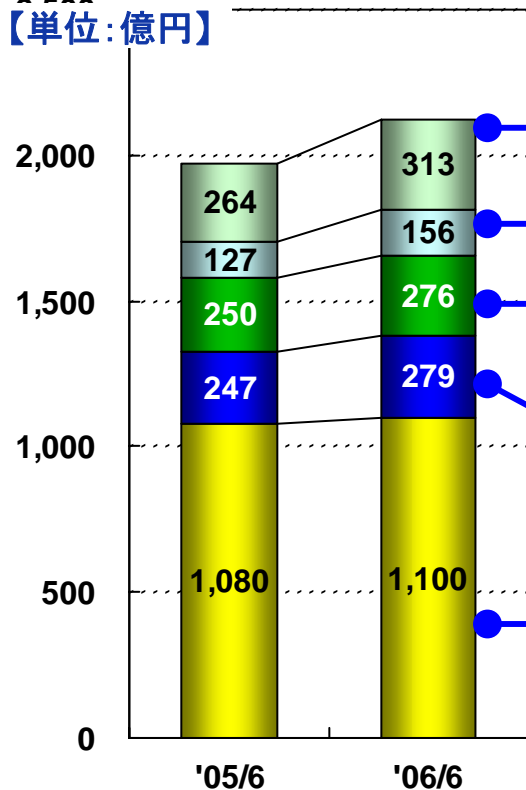
【単位：億円】



【小数点以下は四捨五入】

# 品目別売上高の実績

【単位：億円】



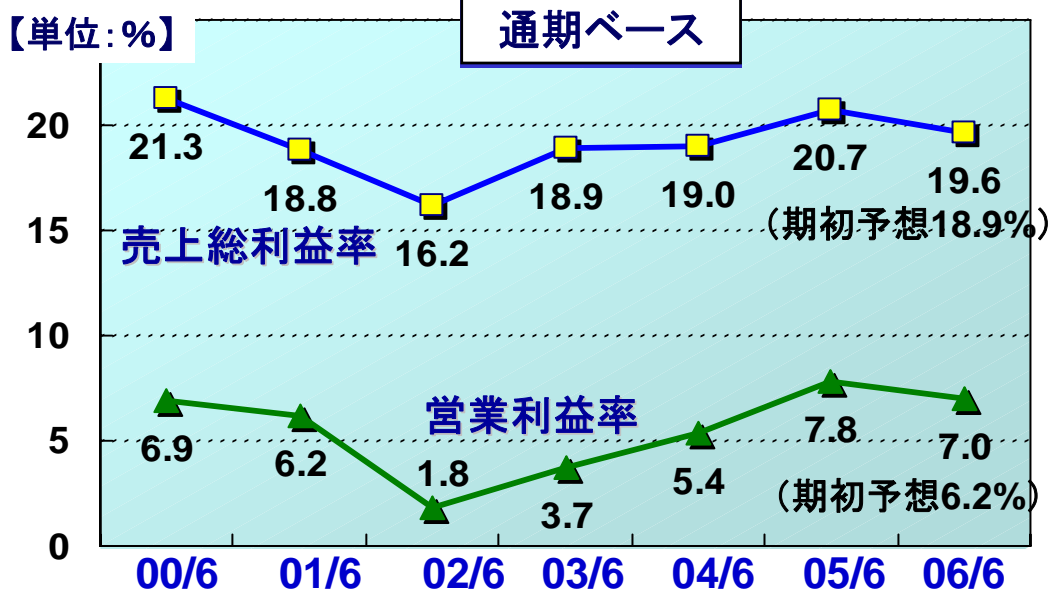
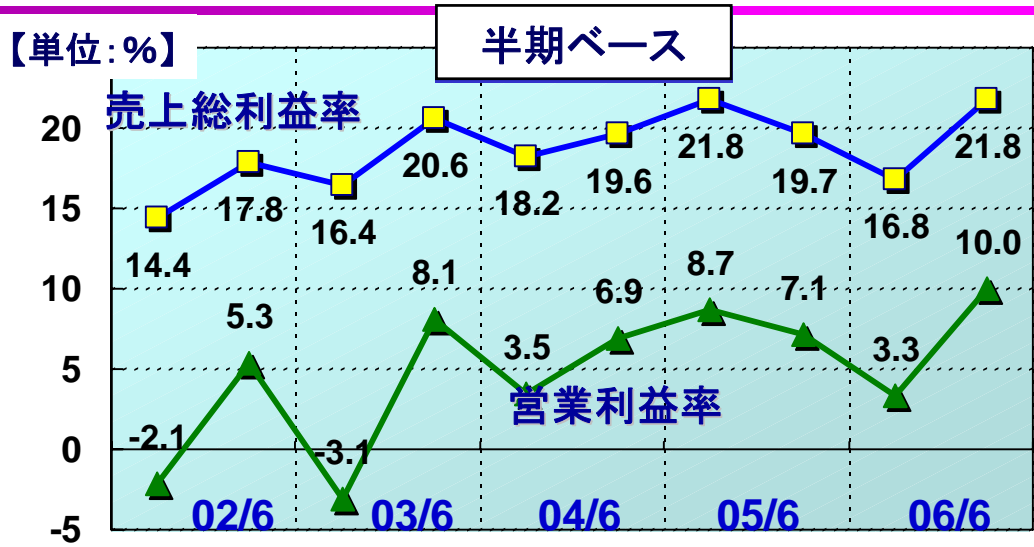
品目	背景(前年同期比較)
その他の事業	・FPDなどの客先稼働率アップにより、ターゲット材などの材料関連が増加
その他	・自動車関連の設備投資増により熱処理炉堅調 ・中国現地法人を連結子会社に追加
コンポーネント	・FPD製造装置の需要増により、ドライポンプ、ターボポンプなどが増加 ・自動車や電子部品の需要増により、計測器、ガス分析系などが増加
半導体製造装置	・デジタル家電関連のDRAM、フラッシュメモリ需要増によりスパッタなどが増加
ディスプレイ及び電子部品製造装置	・大画面(液晶、プラズマ)テレビ需要増により、日本、韓国、台湾での設備投資が増加 ・次世代ディスプレイの投資が開始

【単位：億円】

品目	05/6		06/6		増減率
	売上高	構成比	売上高	構成比	
真空関連事業					
ディスプレイ及び電子部品製造装置	1,080	55%	1,100	52%	2%
半導体製造装置	247	13%	279	13%	13%
コンポーネント	250	13%	276	13%	10%
その他	127	6%	156	7%	23%
その他の事業	264	13%	313	15%	19%
合計	1,968	—	2,125	—	8%

注) 記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。

# 利益率の推移



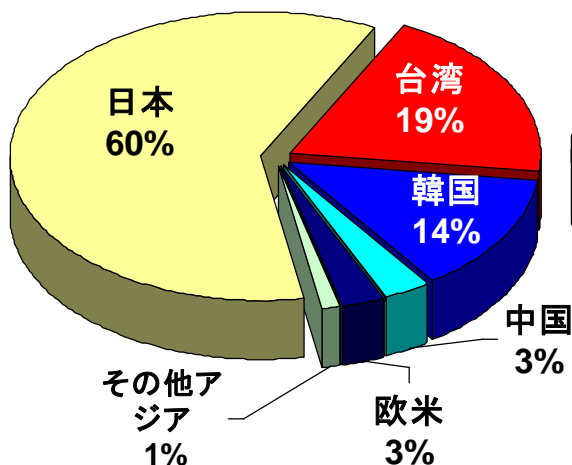
- ## 06/6期利益率分析
- 上期**
    - ・6~7Gの据付が多く、追加原価が増加。利益率低下
    - ・半導体製造装置、材料、サービスが利益下支え
  - 下期**
    - ・5~6G、半導体製造装置、ターゲット材、サービスなどで利益増
    - ・縦型スパッタ市場投入による立ち上げ時追加原価の発生
  - 通期**
    - ・上期追加原価の発生の影響で前期に比べ利益率低下
    - ・標準化による信頼性向上、先行調達などでコストダウン

【小数点以下第2位は四捨五入】

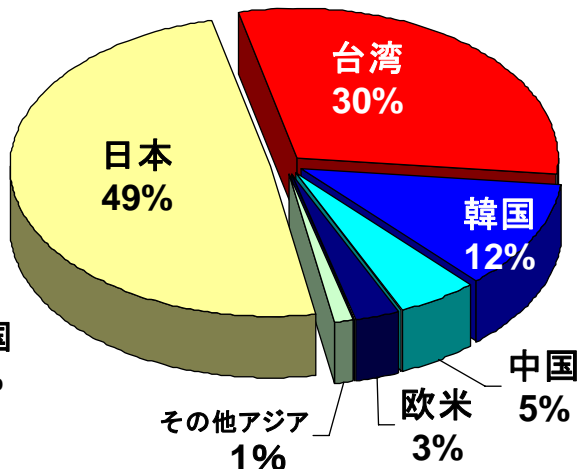


# 地域別売上高構成比の推移

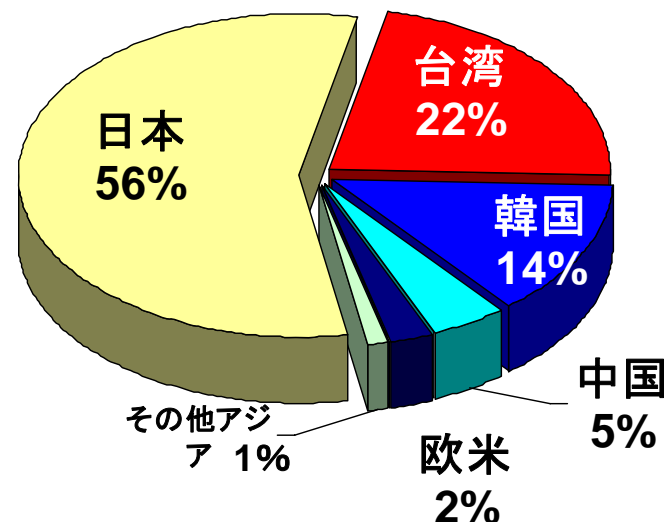
04/6期



05/6期



06/6期



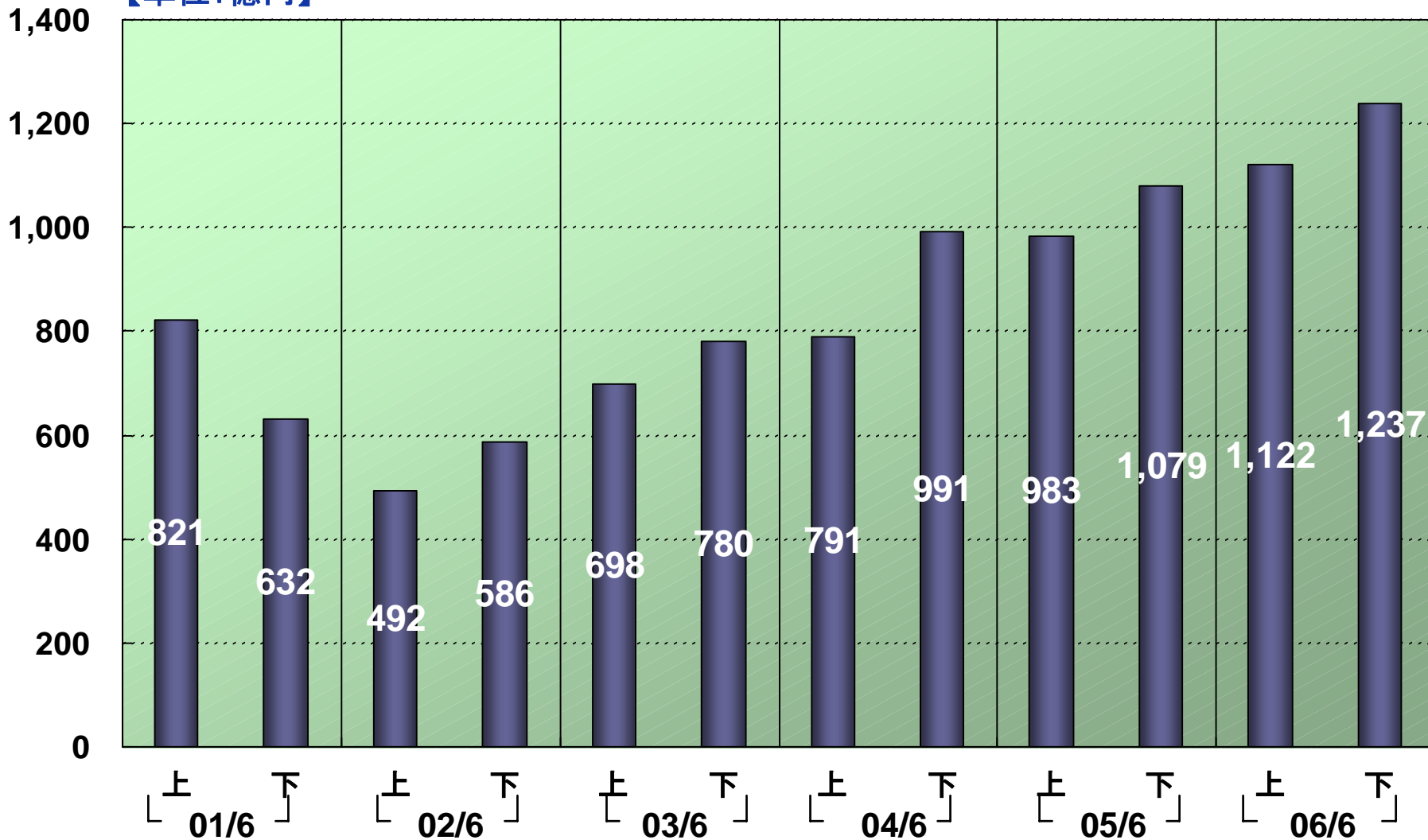
【単位:億円】

	04/6	05/6	06/6
日本	953 (+23%)	968 (+2%)	1,189 (+23%)
台湾	304 (+16%)	597 (+96%)	473 (-21%)
韓国	211 (+23%)	231 (+10%)	292 (+26%)
中国	47 (+114%)	94 (+103%)	96 (+2%)
その他アジア	16 (+78%)	21 (+36%)	26 (+23%)
欧米他	47 (+23%)	57 (+20%)	48 (-16%)
合計	1,579 (+24%)	1,968 (+25%)	2,125 (+8%)

【( )内は増減率、百万円単位で計算後、単位未満四捨五入】

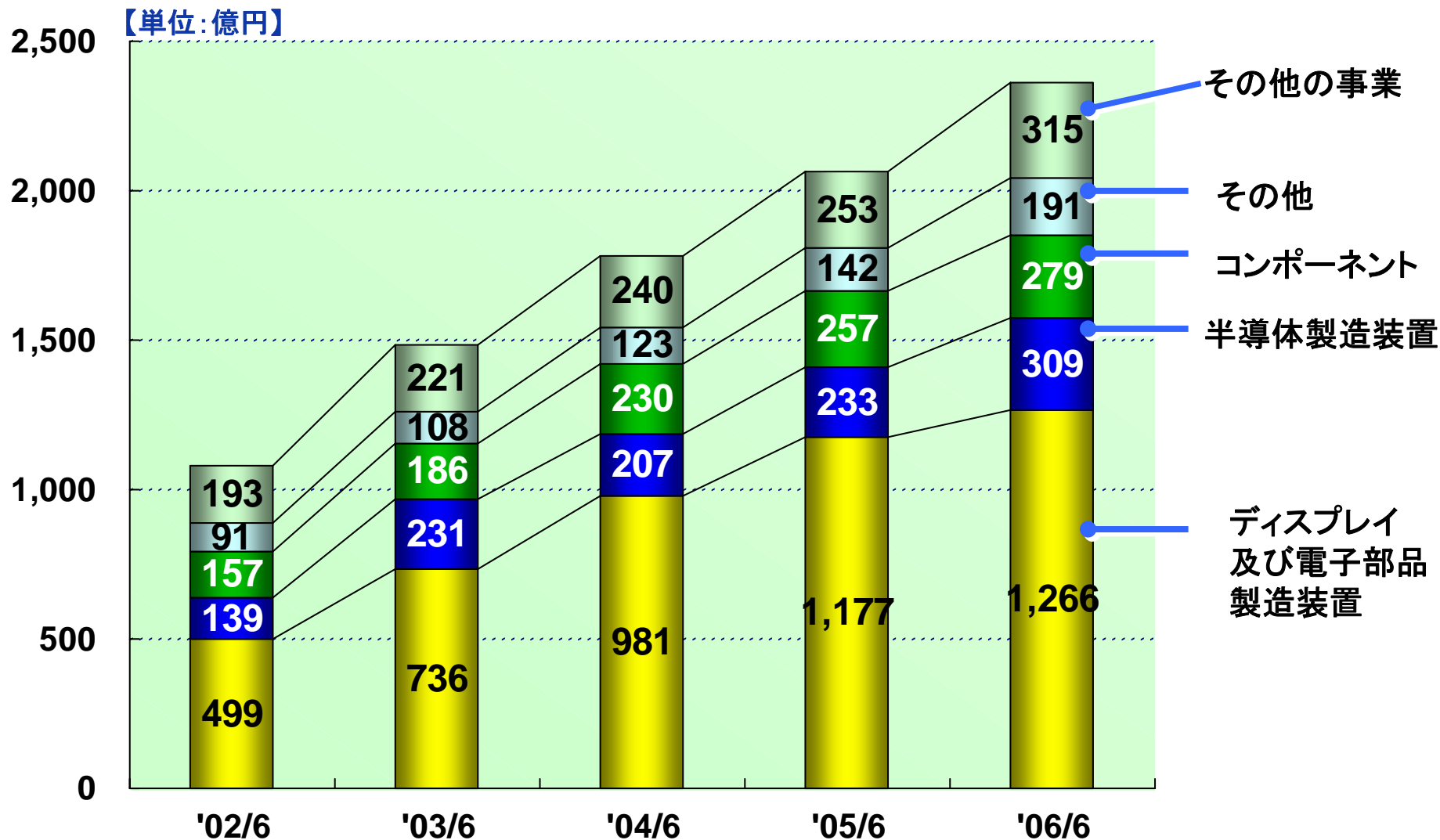
# 受注高推移

【単位：億円】



【小数点以下は四捨五入】

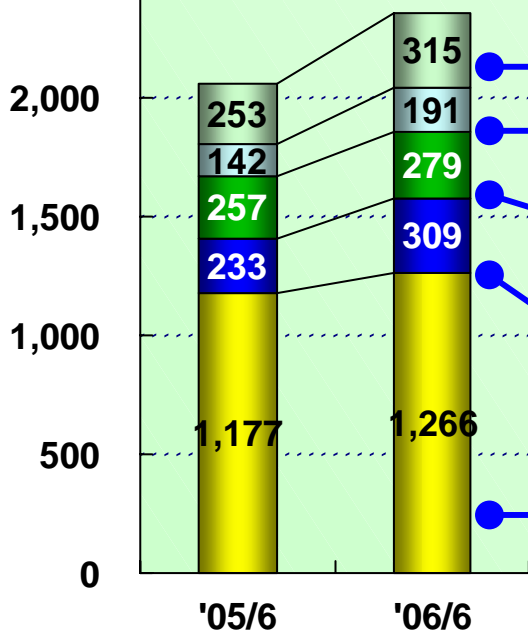
# 品目別受注高実績



【小数点以下は四捨五入】

# 品目別受注高の実績

【単位：億円】



品目	背景(前年同期比較)
その他の事業	スパッタ装置用ターゲット材料続伸
その他	自動車関連熱処理炉、蒸着装置など大幅増
コンポーネント	FPD製造装置用ドライポンプや自動車産業向け真空ポンプ、計測器など続伸
半導体製造装置	フラッシュメモリ、パワーICなど向けにスパッタ、自然酸化膜除去装置大幅増
ディスプレイ及び電子部品製造装置	日本、韓国、台湾などで大画面テレビ、モニター向けに積極的な設備投資で続伸

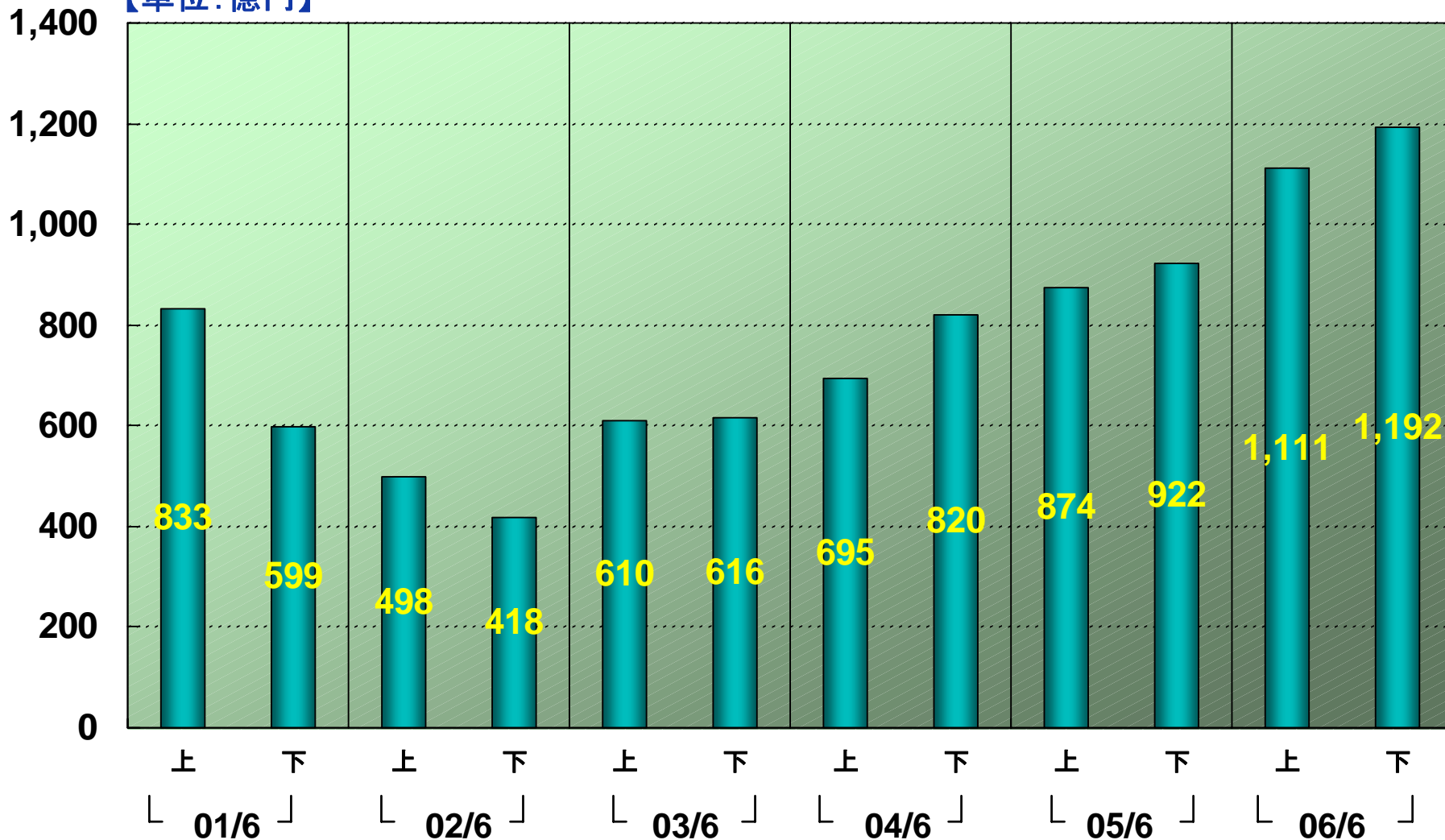
【単位：億円】

品目	05/6		06/6		
	受注高	構成比	受注高	構成比	増減率
真空関連事業					
ディスプレイ及び電子部品製造装置	1,177	57%	1,266	54%	8%
半導体製造装置	233	11%	309	13%	32%
コンポーネント	257	13%	279	12%	9%
その他	142	7%	191	8%	35%
その他の事業	253	12%	315	13%	24%
<b>合計</b>	<b>2,062</b>	<b>—</b>	<b>2,360</b>	<b>—</b>	<b>14%</b>

注) 記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。

# 受注残高推移

【単位：億円】



【小数点以下は四捨五入】

# バランスシート(資産の部)

	05/6	06/6	増 減	【単位:億円】
流動資産	1,472	1,787	315	
現金及び預金	175	110	△ 66	● 運転資金、投資に充当
受取手形及び売掛金	686	834	148	● 売上増加による
たな卸資産	525	747	223	● 受注残高増加による
繰延税金資産	45	42	△ 3	
その他	44	56	13	
貸倒引当金	△ 2	△ 2	△ 0	
固定資産	770	907	136	
有形固定資産	539	608	69	
建物及び構築物	228	248	20	● 新規連結子会社(中国)分
機械装置及び運搬具	189	193	4	
工具器具及び備品	22	26	4	
土地	75	91	16	● 愛知工場、富里事業所土地取得
建設仮勘定	24	50	26	
無形固定資産	44	55	11	
投資等	187	243	56	
投資有価証券	102	149	47	● 愛発科(中国)投資有限公司、超 浄精密科技・優貝克光電(台湾)、 韓国アルバック精密・PS Tech(韓国)などへの投資による
差入保証金	13	13	1	
繰延税金資産	35	37	2	
その他	40	45	4	
貸倒引当金	△ 2	△ 1	1	
資産合計	2,243	2,694	451	

【記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。】

# バランスシート(負債・純資産(資本)の部)

	05/6	06/6	増 減
<b>流動負債</b>	<b>1,185</b>	<b>1,465</b>	<b>280</b>
支払手形及び買掛金	553	684	131
短期借入金	320	249	△ 71
一年以内償還予定社債	25	-	△ 25
コマーシャル・ペーパー	-	100	100
未払法人税等	47	50	3
前受金	69	208	139
繰延税金負債	0	0	△ 0
賞与引当金	13	15	2
役員賞与引当金	-	3	3
製品保証引当金	23	28	5
その他	134	128	△ 6
<b>固定負債</b>	<b>282</b>	<b>353</b>	<b>71</b>
社債	2	2	-
長期借入金	178	231	54
退職給付引当金	90	103	13
役員退職慰労引当金	9	11	2
その他	3	6	3
<b>負債合計</b>	<b>1,467</b>	<b>1,818</b>	<b>351</b>
少数株主持分	37	-	△ 37
資本金	135	135	-
資本剰余金	147	147	-
利益剰余金	450	519	69
その他有価証券評価差額金	6	15	9
為替換算調整勘定	1	11	11
自己株式	△ 0	△ 0	△ 0
少数株主持分	-	49	49
<b>資本合計</b>	<b>739</b>	<b>-</b>	<b>△ 739</b>
<b>純資産合計</b>	<b>-</b>	<b>876</b>	<b>876</b>
<b>負債及び 純資産(資本)合計</b>	<b>2,243</b>	<b>2,694</b>	<b>451</b>

【単位:億円】

たな卸資産増加による

CP発行にシフト

社債償還による

CP発行による。  
運転資金に充当

運転資金増加による

【記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。】



# キャッシュ・フローと有利子負債の状況

## 主要要因

営業CF: 86億円

【プラス要因】

- ・税金等調整前 当期純利益 147億円
- ・減価償却費 75億円

【マイナス要因】

- ・運転資金増加 94億円
- ・法人税等支払額 57億円

投資CF: △213億円

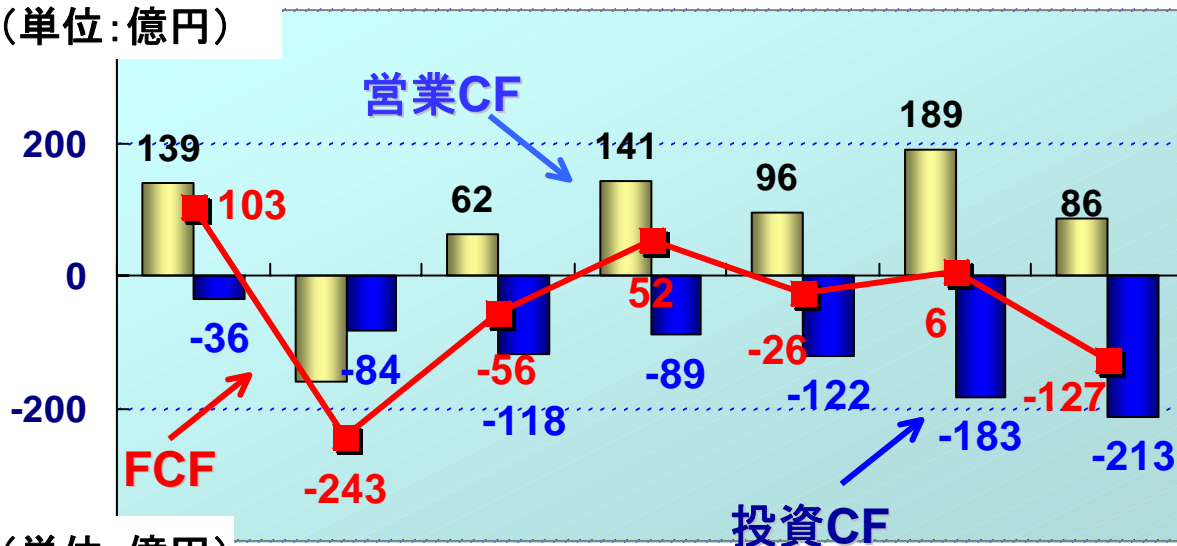
【プラス要因】

- ・固定資産売却等 29億円

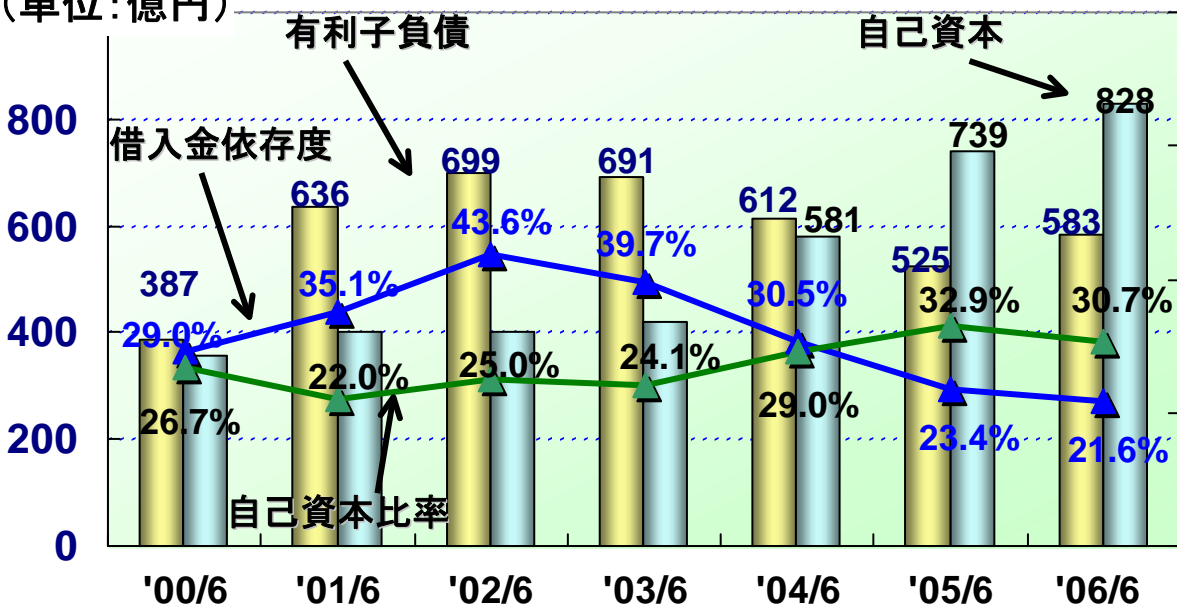
【マイナス要因】

- ・工場及び設備投資 167億円  
(アルバックマテリアル富里事業所、愛知工場、研究開発設備等)
- ・中国統括管理会社 21億円
- ・台湾製造子会社、Litrex株取得等 36億円

(単位: 億円)



(単位: 億円)



【小数点以下第2位は四捨五入】



# 主な研究開発のテーマと成果

部 門	最近の主な開発分野	主な成果
ディスプレイ 及び電子部品 製造装置	液晶ディスプレイ (TV用大型基板、LTPS) 次世代ディスプレイ (有機EL、PDP、FED、SEDなど) デジタル家電関連 (光学膜、高密度実装など)	①大型基板用縦型枚葉式スパッタ装置 の開発 ②大型基板用インクジェットプリンティング 装置の開発 ③PDP用新電極保護膜の開発 ④光学膜用デジタルスパッタの開発
半導体製造装置	不揮発メモリ、メモリ他 パワーIC(極薄ウエーハ) MEMS(微細電子部品)	①パワーデバイス用イオン注入機の開発 ②MEMS向けNLDエッチング装置の開発 ③強誘電体メモリ用装置の開発
コンポーネント	エネルギー・環境、バイオ	①RoHS対応新型クロマトグラム取込器 ②四極型質量分析計の開発
そ の 他	エネルギー・環境、 ナノテクノロジー	①コンデンサー用巻取式真空蒸着装置 の開発(バージョンアップ) ②希土類磁石用熱処理炉などの開発
その他の事業	新規機能性材料(ナノテクノ ロジー)、分析技術	①FPD用Al-Ceターゲットの開発 ②四重光路マイケルソン光干渉計方式 熱膨張計の開発

# 主な新設工場、新拠点および子会社化

## 中国

真空熱処理炉などの  
製造工場新設



(沈陽市)

電子部品製造装置やカスタマー  
サポート工場の増設



(蘇州市)

リークテスト装置などの  
製造工場新設



(成都市)

- 工場新設
- 工場増設
- サービス拠点新設



## マレーシア

販売・カスタマーサポート拠点新設



(クアラルンプール)

## タイ



(バンコク)

## 米国

Litrex100%子会社化



(カリフォルニア)

## 韓国

部品洗浄・表面処理  
工場新設



大型部品の  
加工工場新設



小型部品の  
加工工場新設



クライオポンプの  
製造工場新設



(平澤市)

- 2006年6月期連結業績の概要
- **市場環境**
- 2007年6月期連結業績予想
- 中長期の事業戦略

# 経営環境

## ■ ポジティブ要因

- ▶ FPD、フラッシュメモリを中心にデジタル家電分野において世界的な規模で大型の設備投資が計画されている
- ▶ 化合物半導体、MEMSやエネルギー・環境関連のハイブリッドカー、太陽電池などの「ポストFPD分野」も投資の拡大が開始
- ▶ 中国の製造業が順調に拡大。世界経済に重大な影響を及ぼす
- ▶ ディ스플레이の基板大型化、半導体の微細化、自動車の電気電子技術の応用等急激な技術革新が行われる

アルバックを取り巻く経営環境は堅調に推移

# 経営環境

## ■ ネガティブ要因

- ▶ 韓国、台湾、中国のデバイスメーカーや装置メーカーがコスト競争力に加え技術競争力をつけ、自国産業育成政策ともあいまってシェアを大幅に拡大しつつある
- ▶ 構造的デフレによる市販価格の下落が長期にわたり進行
- ▶ 撤退や企業買収などが進行し、生き残りをかけた企業間競争がさらに激しくなった
- ▶ 一部液晶メーカーで生産調整や設備投資の見直しの動きがあり、予断を許さない状況

# 半導体および液晶パネル製造装置予測

製造装置市場

【単位:億円】

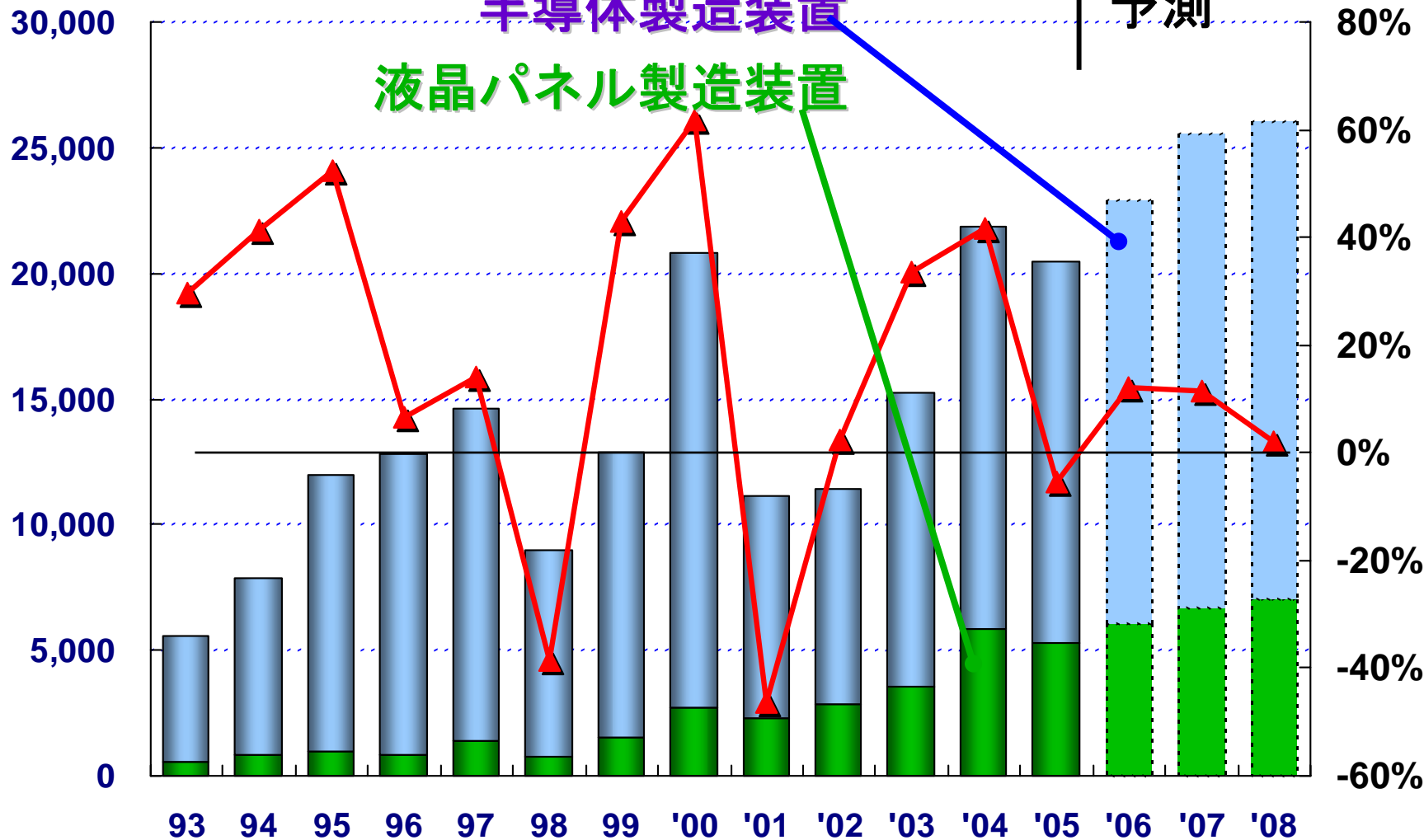
＜日本製装置売上高予測＞

半導体製造装置

液晶パネル製造装置

予測

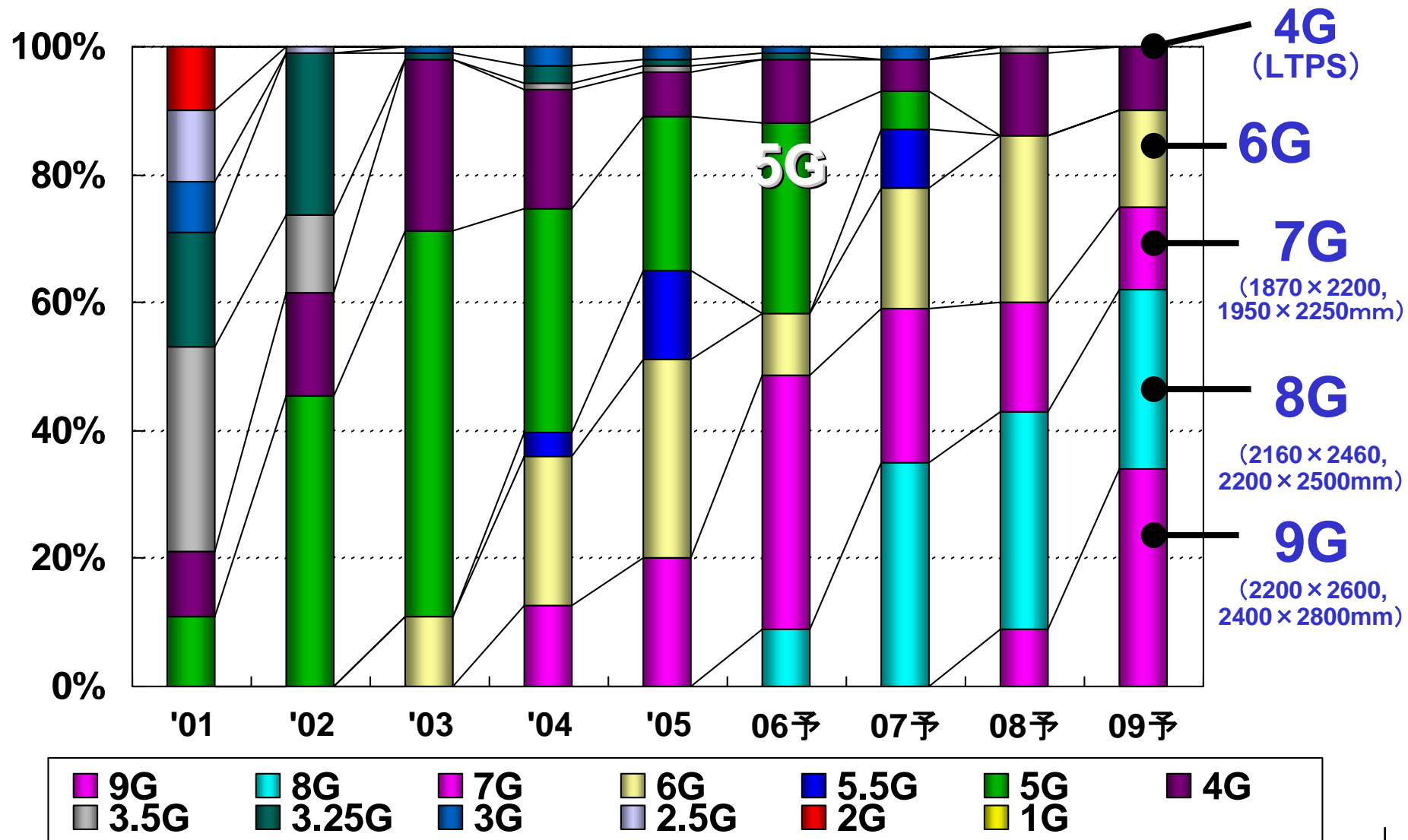
売上高



(出所:2006年6月 SEAJ)

(売上高:日系企業(海外拠点含む)の国内および海外への販売高)

# 液晶ディスプレイ世代別投資



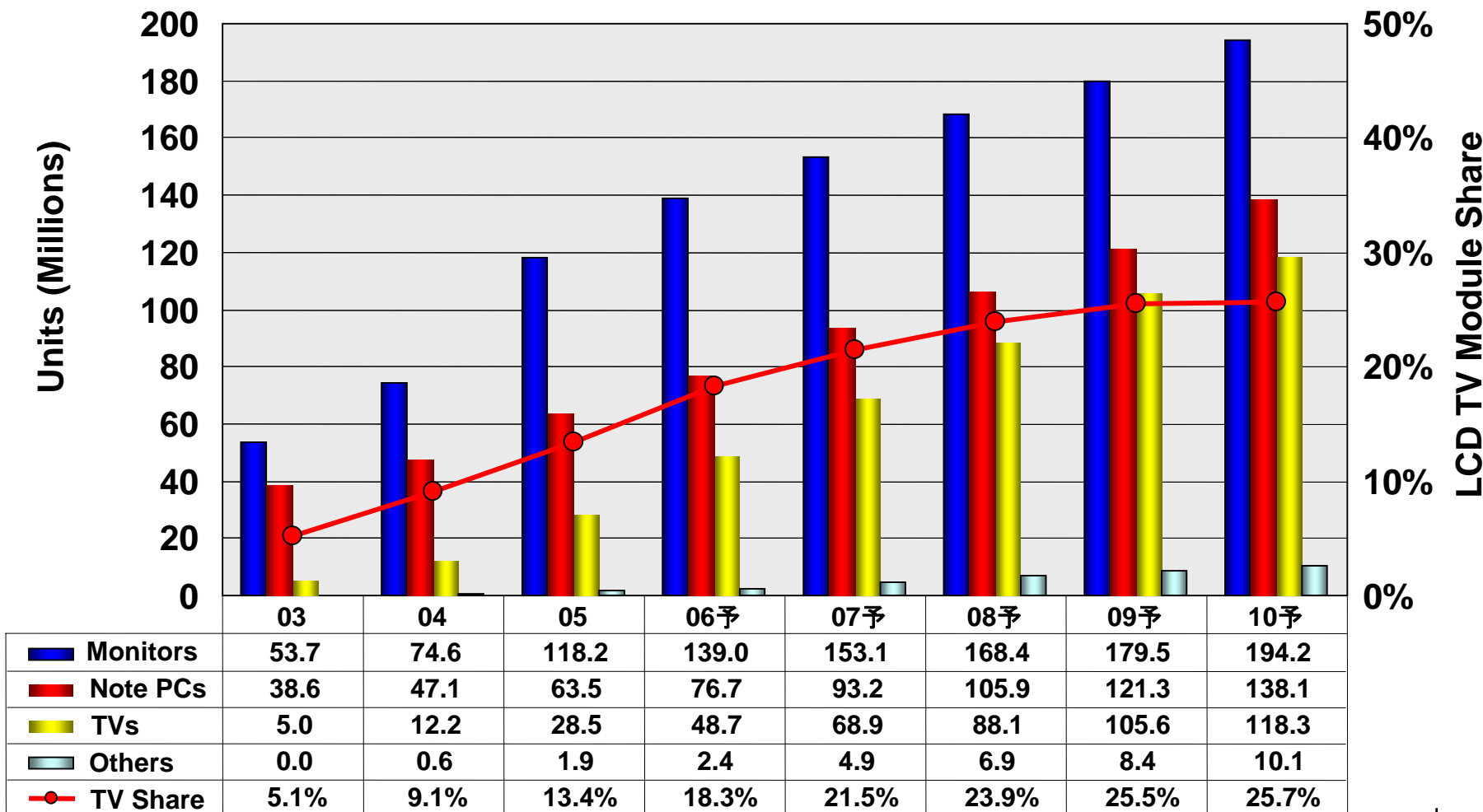
(出所:2006年7月

The 11<sup>th</sup> DisplaySearch Japan Forum )

# 大型TFT LCD用途別市場規模(台数)

市場動向

- 台数ベースではTV用が約4分の1のシェアを占める



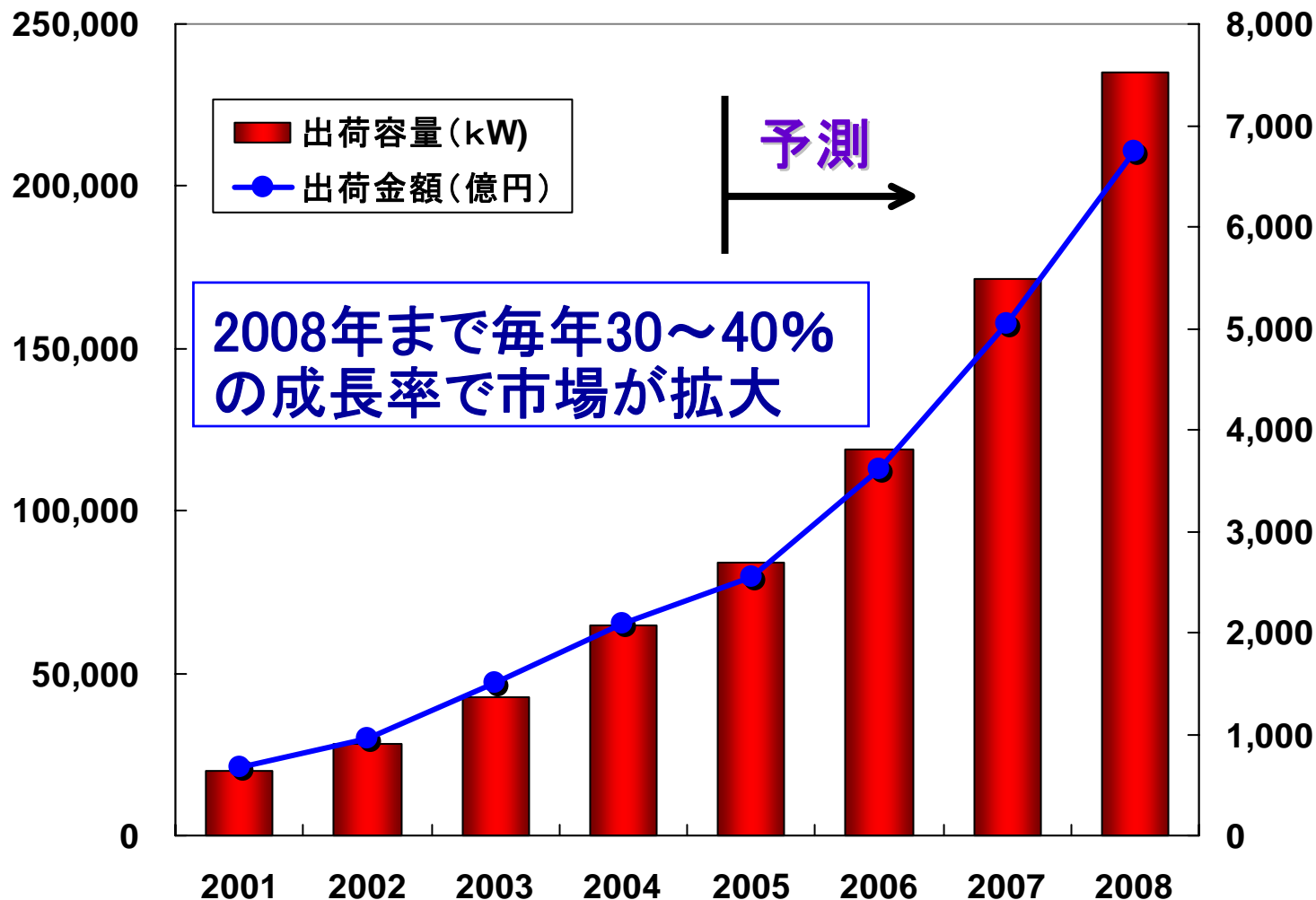
(出所:2006年7月  
The 11<sup>th</sup> DisplaySearch Japan Forum )



# 太陽電池の市場推移

【単位：kW】

【単位：億円】



(出所:2005年8月 矢野経済研究所)

- 2006年6月期連結業績の概要
- 市場環境
- **2007年6月期連結業績予想**
- 中長期の事業戦略

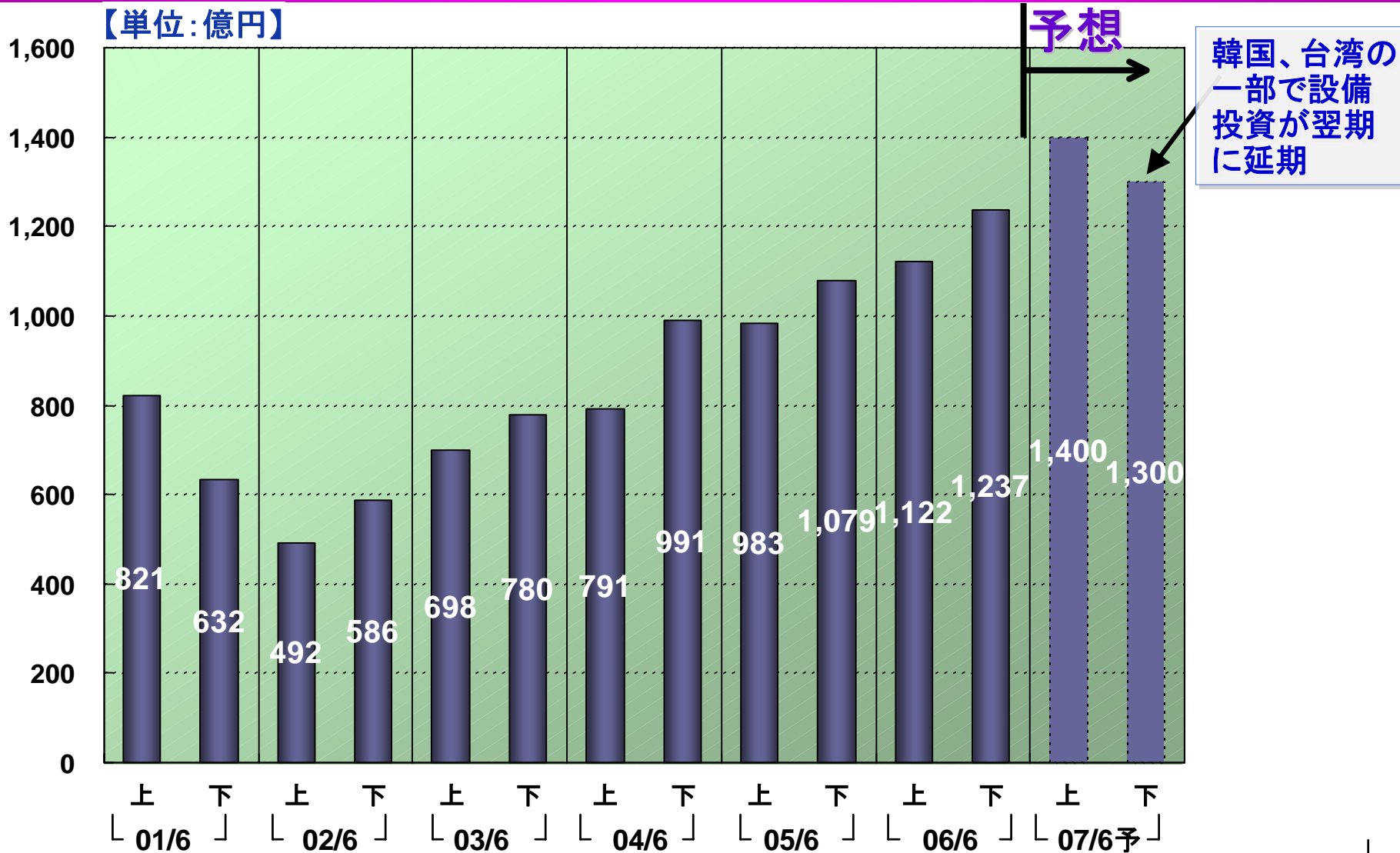
# 07/6期業績予想

【単位:億円】

	04/6期	05/6期	06/6期	06/12 (中間) 予	07/6期予
受注高	1,782 (+ 21%)	2,062 (+16%)	2,360 (+14%)	1,400 (+25%)	2,700 (+14%)
売上高	1,579 (+24%)	1,968 (+25%)	2,125 (+8%)	1,270 (+33%)	2,510 (+18%)
営業利益	85 (+81%)	153 (+81%)	148 (-3%)	89 (+182%)	200 (+35%)
経常利益	73 (+103%)	124 (+71%)	148 (+19%)	84 (+158%)	185 (+25%)
当期純利益	40 (+135%)	71 (+81%)	81 (+13%)	43 (+186%)	101 (+25%)

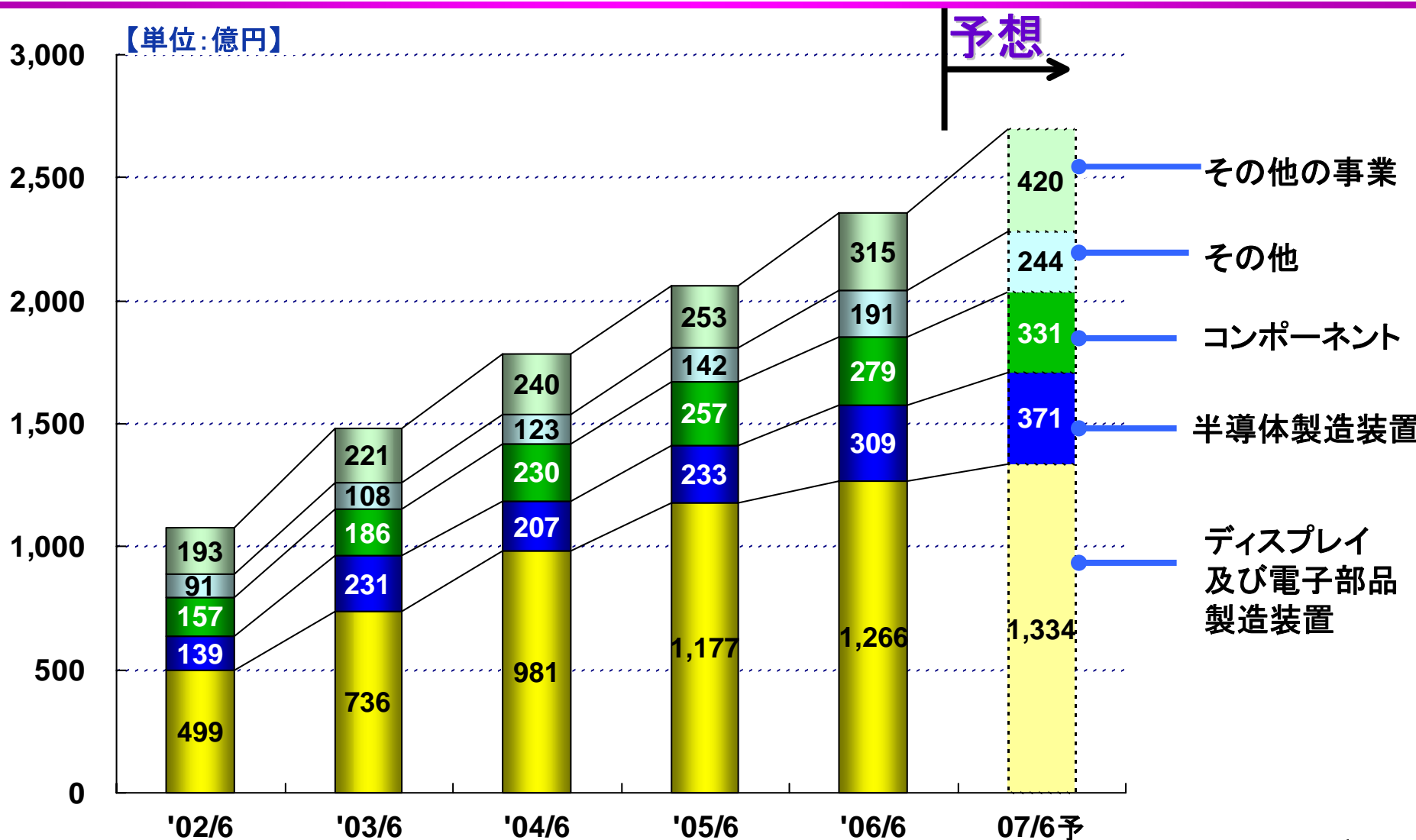
【 ( )内は増減率、百万円単位で計算後、単位未満四捨五入】

# 受注高推移・予想



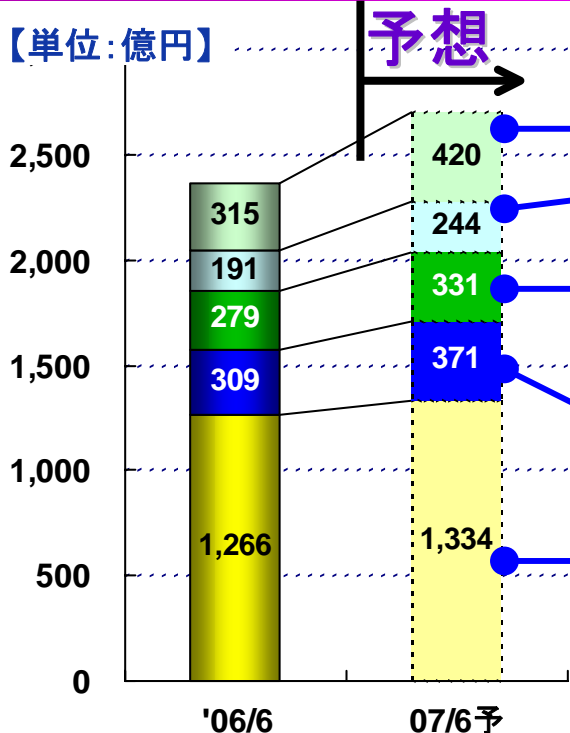
【小数点以下は四捨五入】

# 品目別受注高実績・予想



【小数点以下は四捨五入】

# 品目別受注高の実績



品目	背景(前年同期比較)
その他の事業	FPD、半導体向けターゲット材料の増加を見込む
その他	エネルギー・環境関連で自動車関連の増加を見込む
コンポーネント	・FPD製造装置用大型ドライポンプ、測定器やエネルギー ・環境関連の新規市場など幅広い産業分野での需要増見込む
半導体製造装置	・フラッシュメモリ、パワーICで引き続き需要増を見込む
ディスプレイ及び電子部品製造装置	・韓国、台湾で大型基板の設備投資計画に一部延期。 FPD全体では、投資意欲は引き続き旺盛。 ・次世代ディスプレイや太陽電池の引合い増。

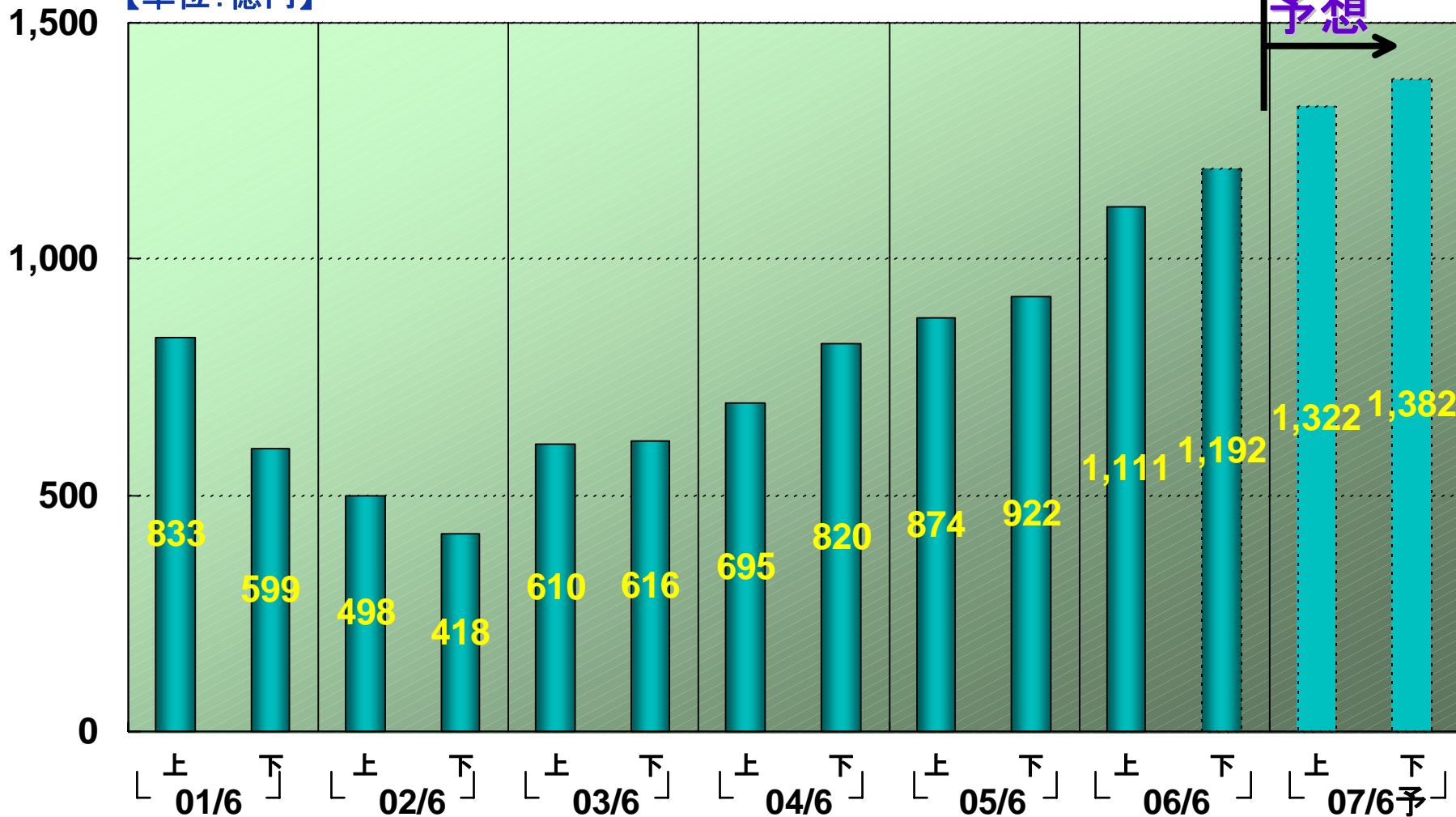
【単位:億円】

品目	06/6		07/6予		
	受注高	構成比	受注高	構成比	増減率
真空関連事業					
ディスプレイ及び電子部品製造装置	1,266	54%	1,334	49%	5%
半導体製造装置	309	13%	371	14%	20%
コンポーネント	279	12%	331	12%	19%
その他	191	8%	244	9%	28%
その他の事業	315	13%	420	16%	33%
<b>合計</b>	<b>2,360</b>	—	<b>2,700</b>	—	<b>14%</b>

注) 記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。

# 受注残高推移・予想

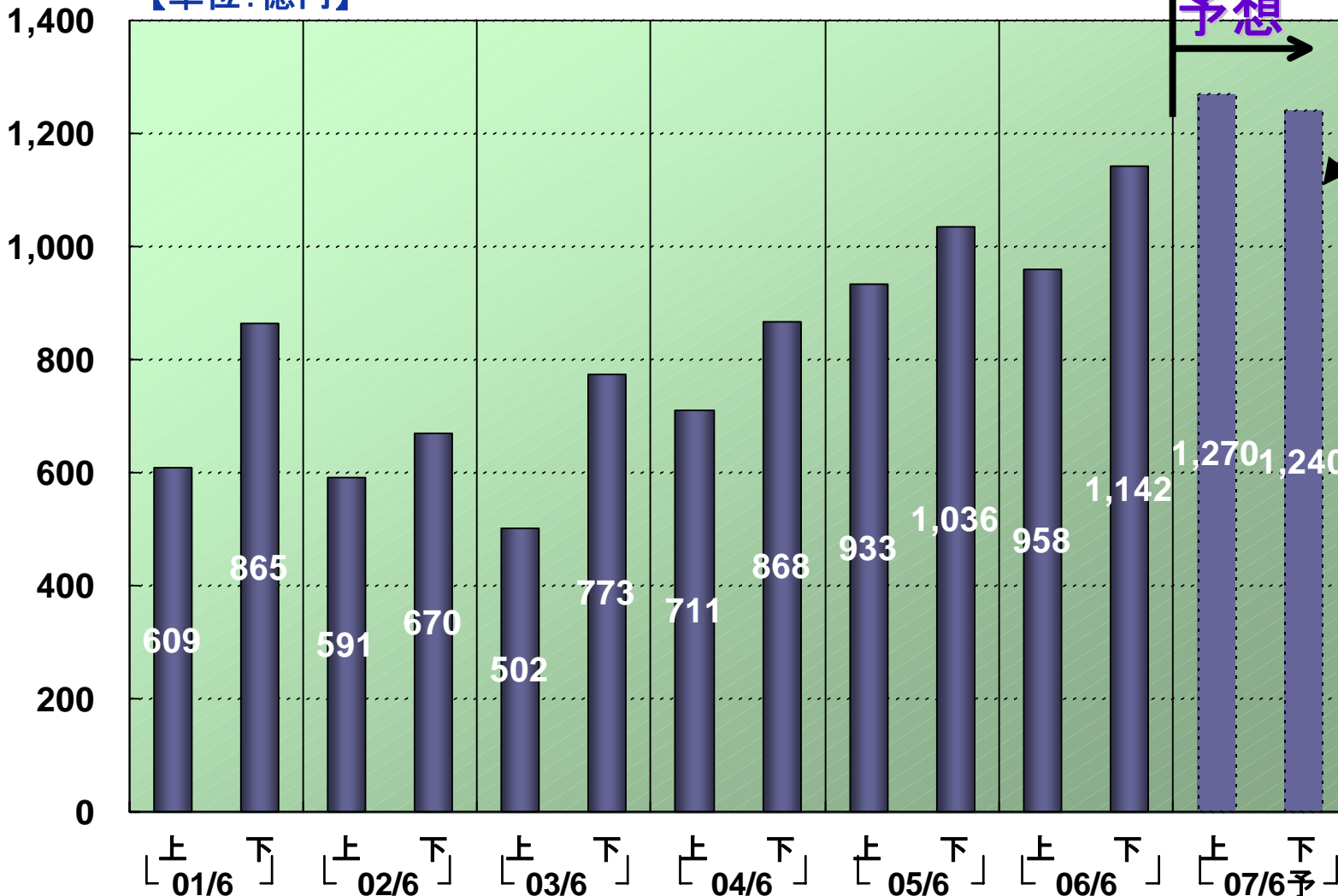
【単位：億円】



【小数点以下は四捨五入】

# 売上高推移・予想

【単位：億円】



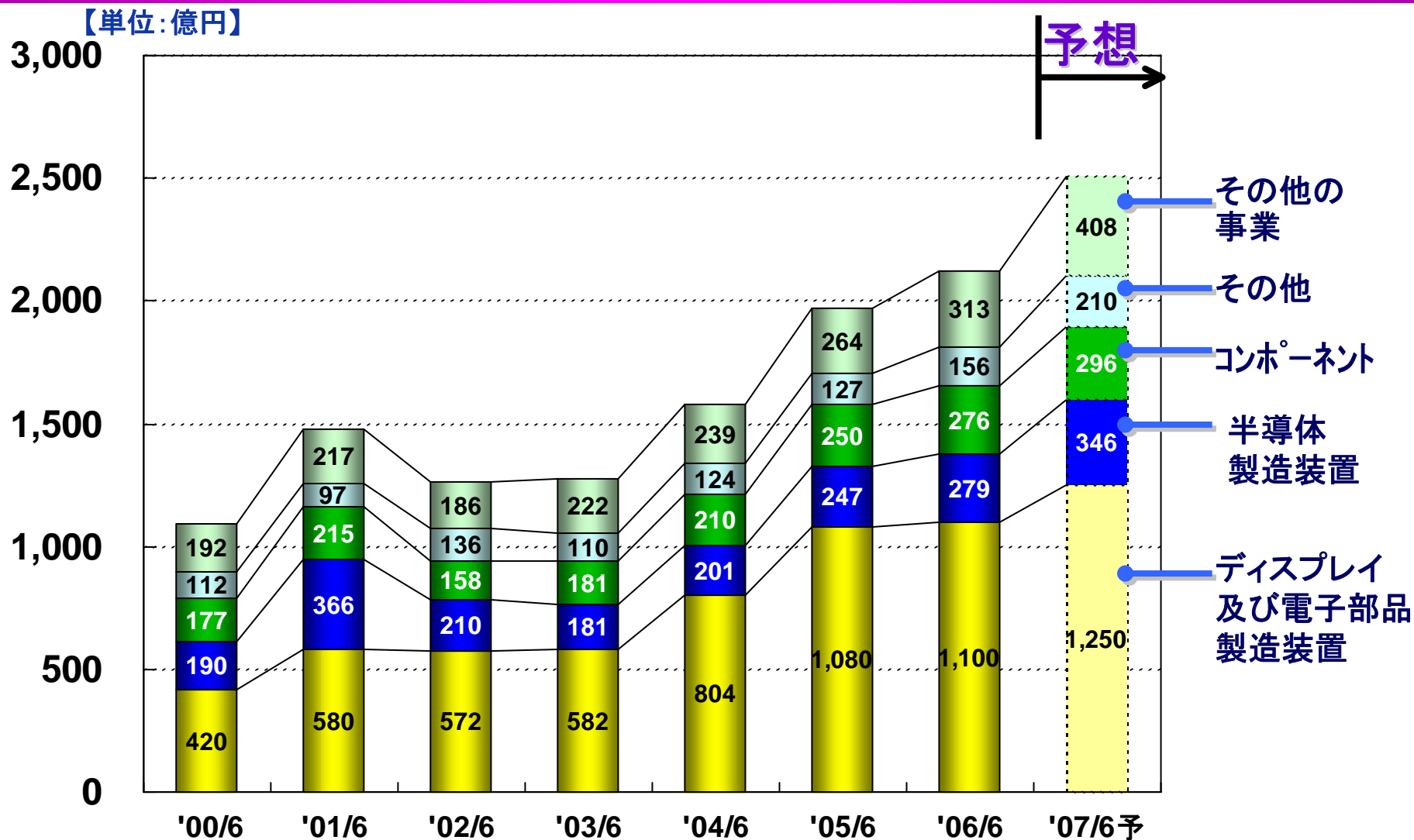
韓国、台湾の一部で設備投資が翌期に延期

予想

【小数点以下は四捨五入】



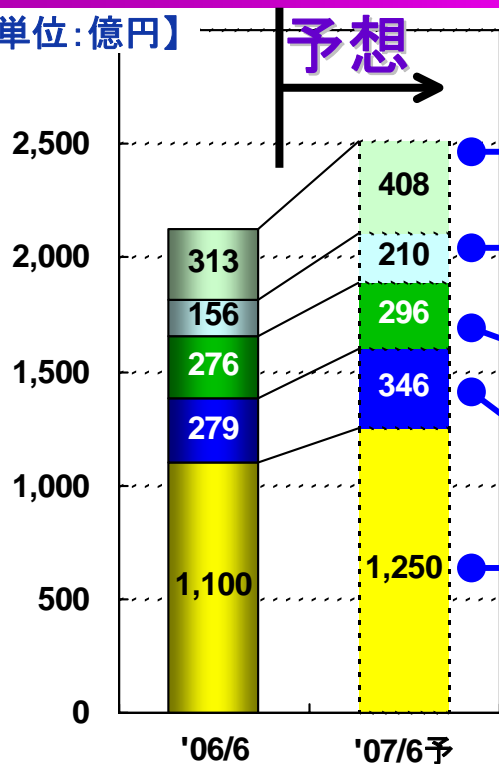
# 品目別売上高実績・予想



【小数点以下は四捨五入】

# 品目別売上高の予測

【単位:億円】



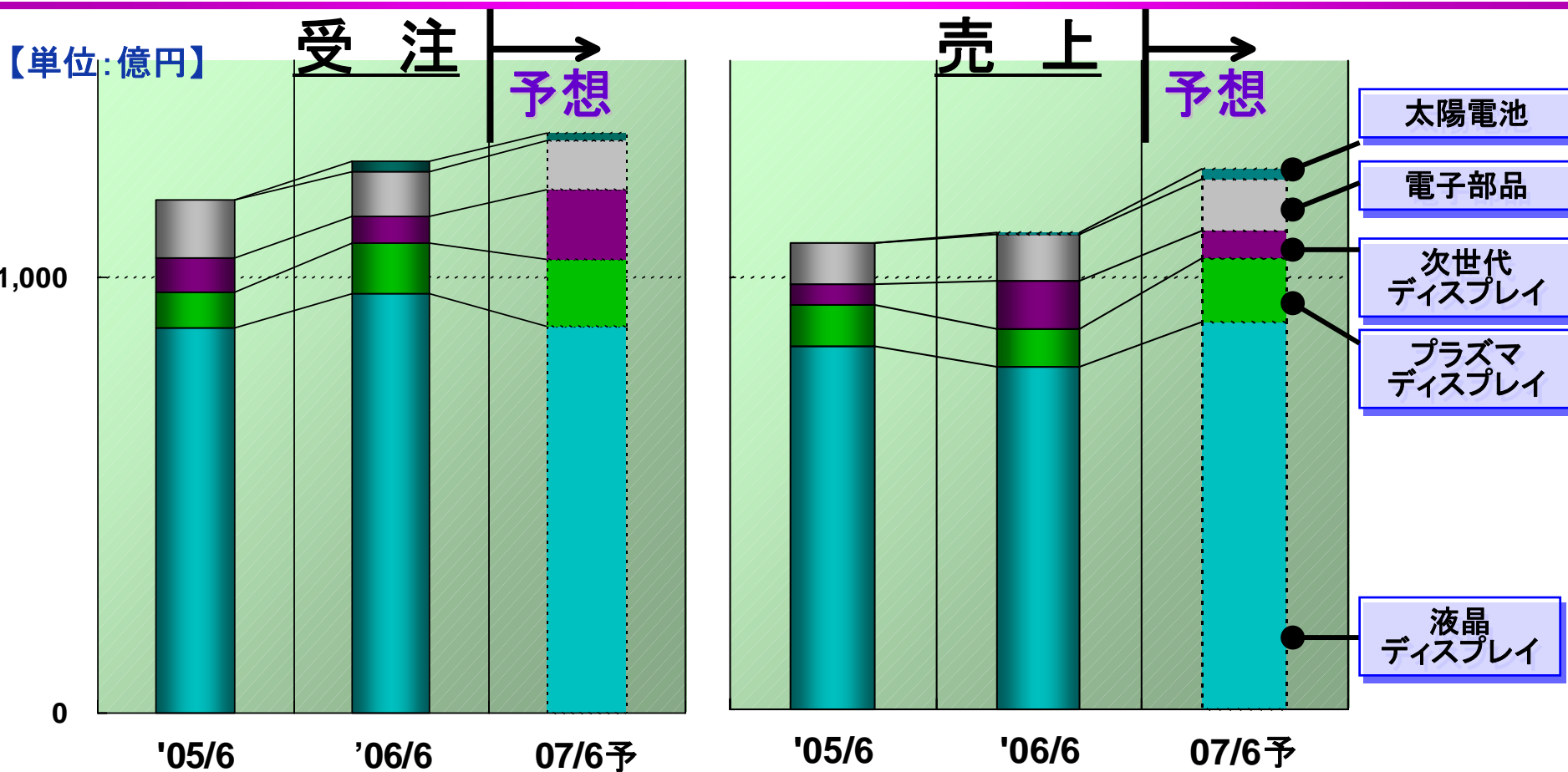
品目	主な動向
その他の事業	・FPD、半導体向ターゲット材の需要増を見込む
その他	・エネルギー・環境関連のハイブリッドカーなどの設備投資を見込む。熱処理炉、真空蒸着装置が増加
コンポーネント	・FPD製造装置需要が見込まれ、大型ドライポンプ、測定器など続伸。 ・エネルギー・環境関連の新規市場の需要増見込む。
半導体製造装置	・フラッシュメモリ、パワーICや化合物半導体の需要増で設備投資が引き続き堅調。スパッタなど増加
ディスプレイ及び電子部品製造装置	・韓国、台湾の一部で、設備投資計画の延期があるが、大画面テレビの需要増により設備投資意欲旺盛。 ・次世代ディスプレイや太陽電池の投資が開始

【単位:億円】

品目	06/6		07/6予		
	売上高	構成比	売上高	構成比	増減率
真空関連事業					
ディスプレイ及び電子部品製造装置	1,100	52%	1,250	50%	14%
半導体製造装置	279	13%	346	14%	24%
コンポーネント	276	13%	296	12%	7%
その他	156	7%	210	8%	34%
その他の事業	313	15%	408	16%	30%
<b>合計</b>	<b>2,125</b>	—	<b>2,510</b>	—	<b>18%</b>

注) 記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。

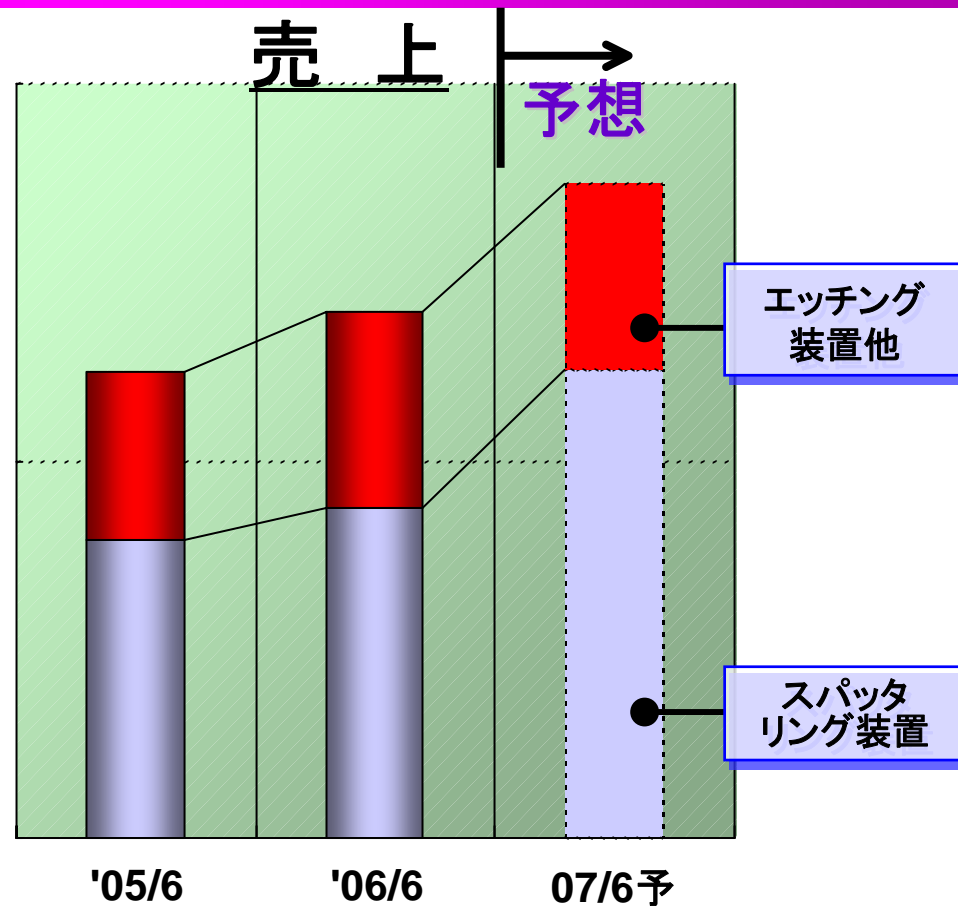
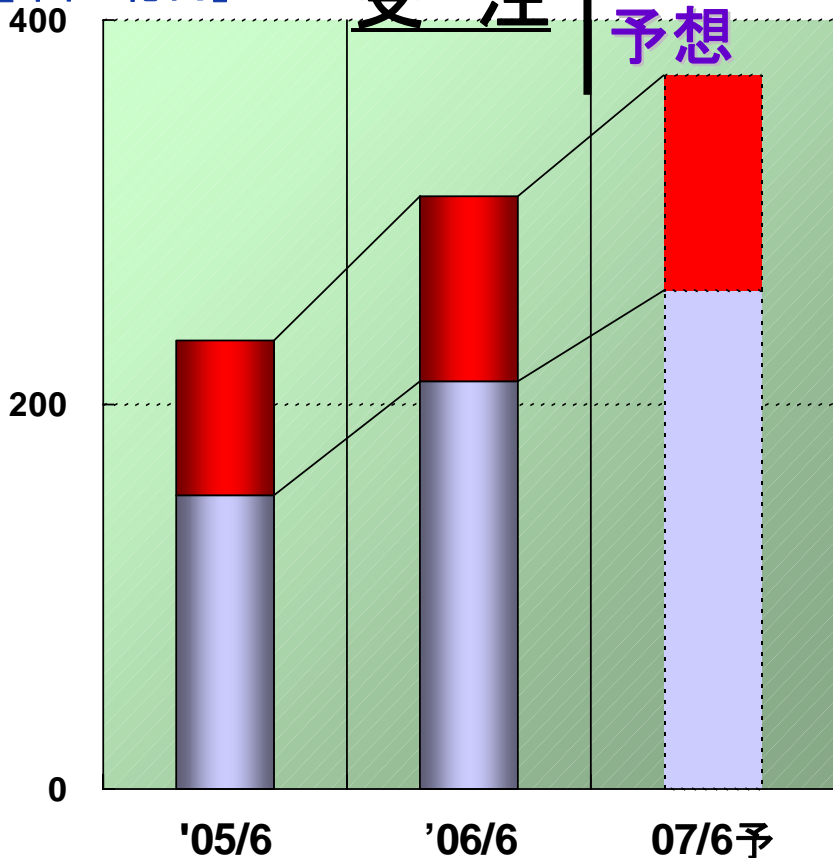
# ディスプレイ及び電子部品製造装置の推移



**足元の受注環境**  
 ◆韓国、台湾の一部ユーザーで大型基板(7.5Gなど)の設備投資が延期しているものの、総じて、大画面テレビの設備投資は堅調

# 半導体製造装置の推移・予想

【単位：億円】



**足元の受注環境**

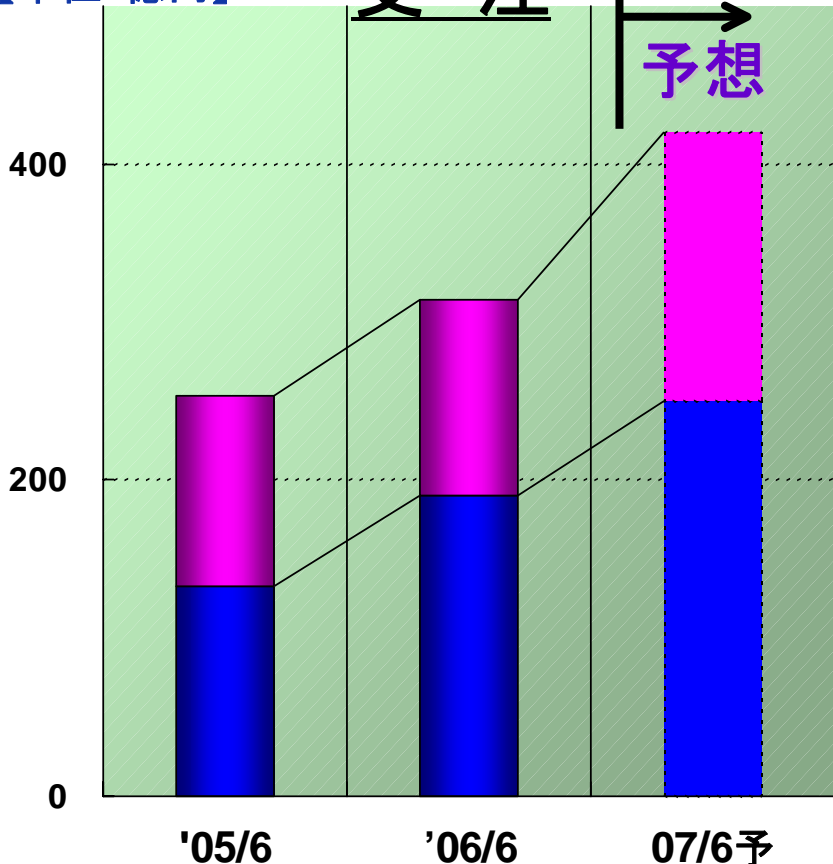
- ◆フラッシュメモリ、DRAM向けでスパッタ、自然酸化膜除去装置引合い堅調
- ◆化合物半導体、パワーデバイスなど引合い、受注堅調

# その他の事業の推移・予想

【単位:億円】

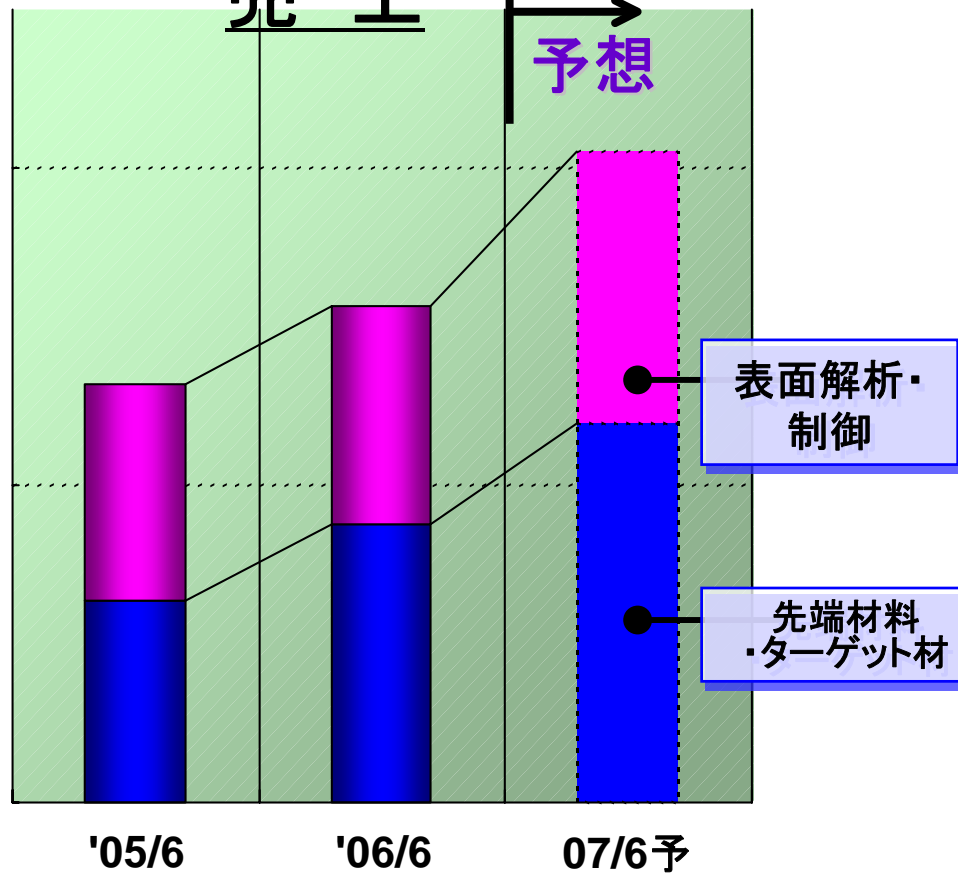
受注

予想



売上

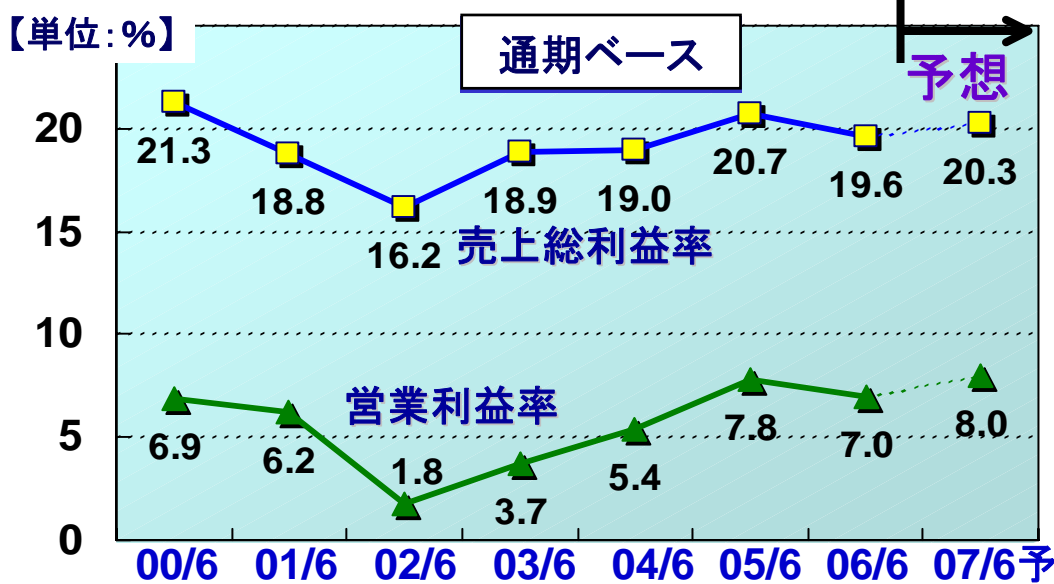
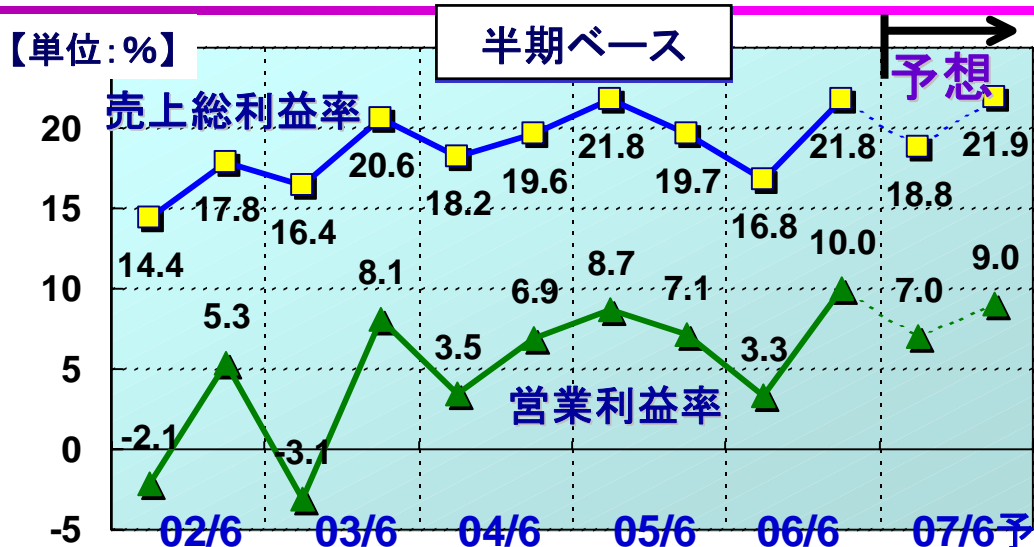
予想



足元の受注環境

- ◆ FPD用スパッタリングターゲット材は、メタルを中心に受注、売上増加
- ◆ 制御システムは自動車産業向けで堅調、表面解析はナノテク関連

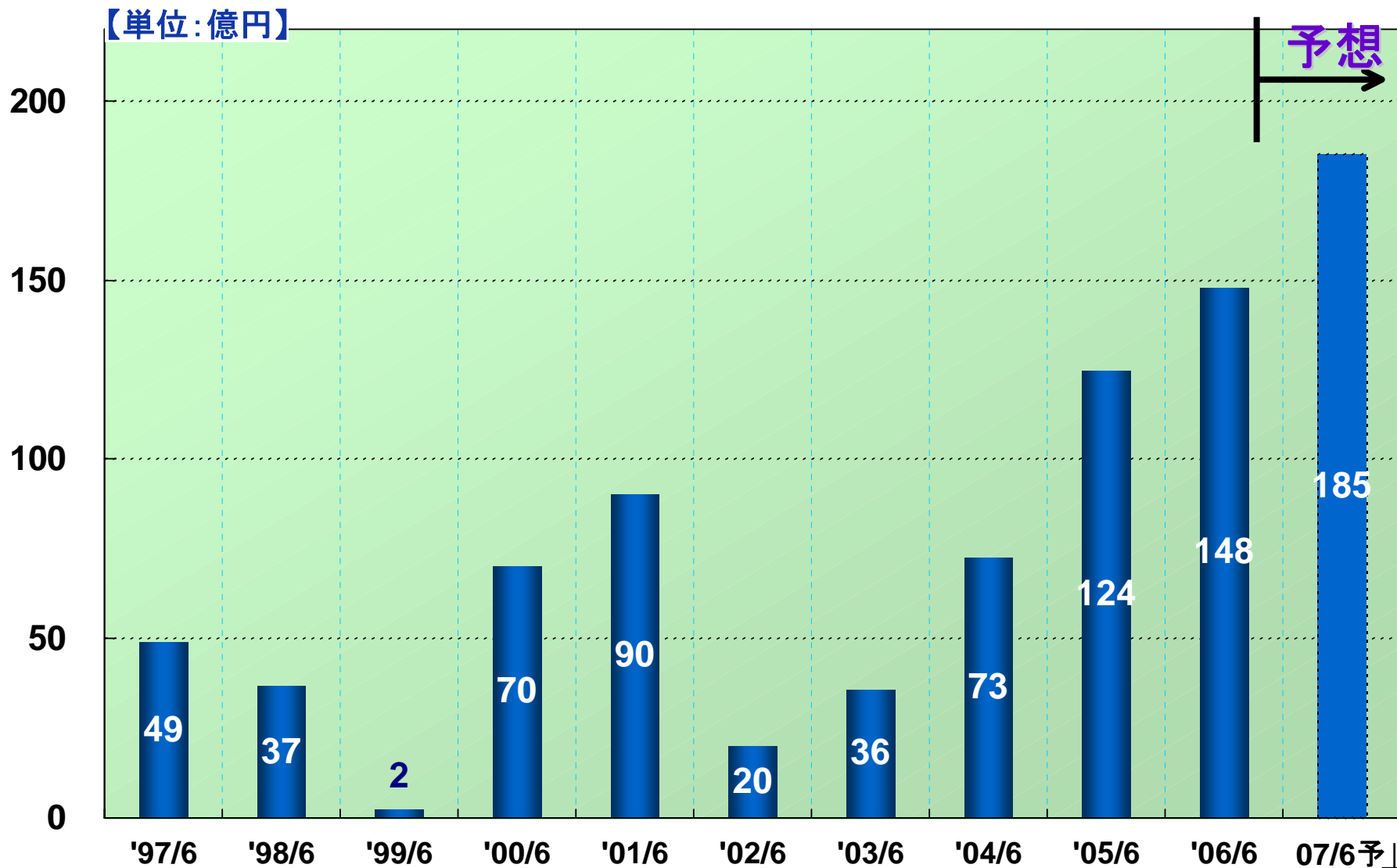
# 利益率の予想



- **07/6期予想**
- ▶ **上期**
  - ・7G以降縦型スパッタの立ち上げ時追加費用を見込む
  - ・5~6G、半導体製造装置、材料で利益下支え
- ▶ **下期**
  - ・6Gの収益性向上
  - ・7G以降縦型スパッタ装置の収益性が回復
  - ・大型液晶ラインの本格稼働で材料関連の売上増
- ▶ **通期**
  - ・標準化、効率化、先行調達購買など攻めの施策により調達コスト低減

【小数点以下第2位は四捨五入】

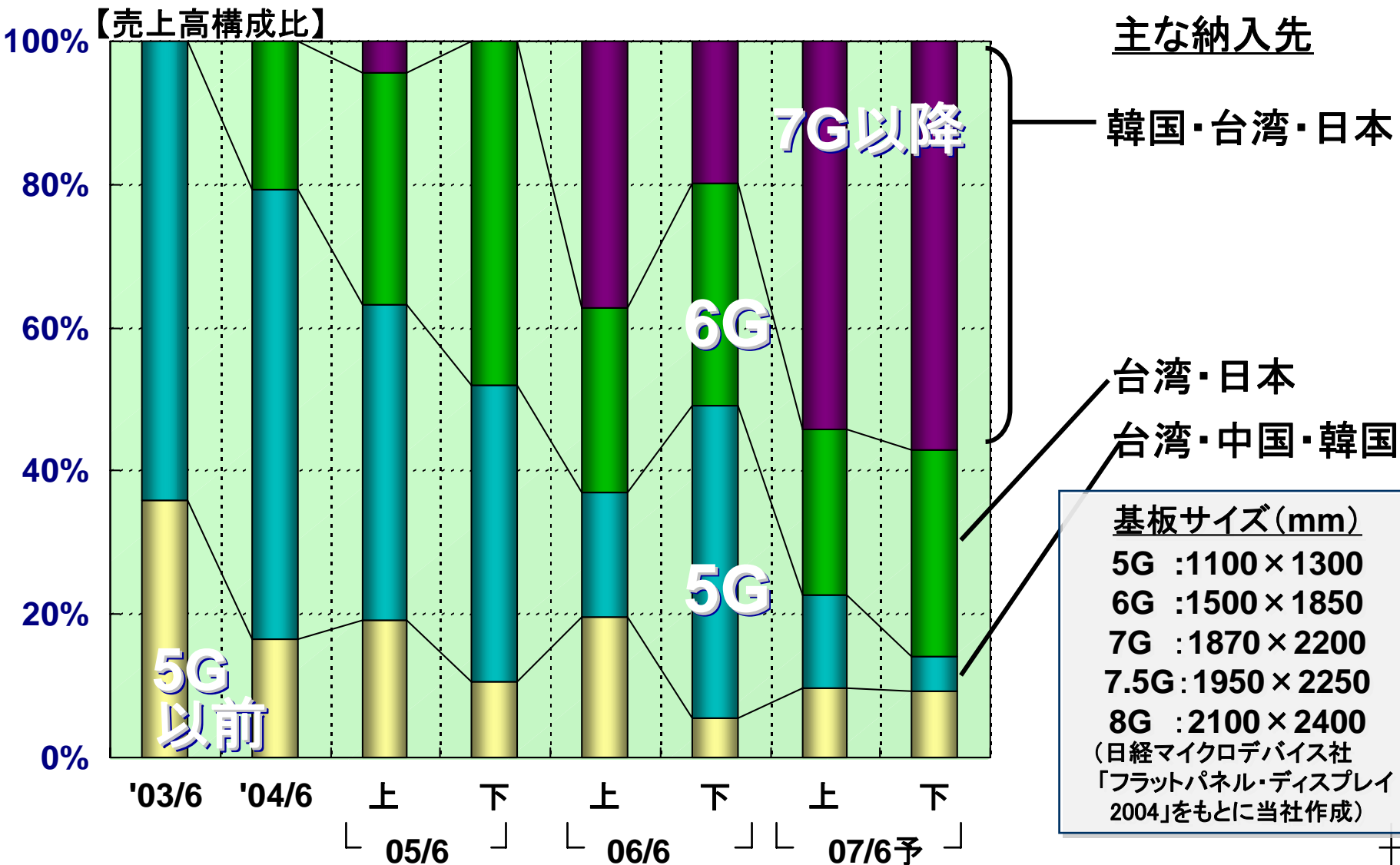
# 経常利益の推移



(小数点以下は四捨五入)

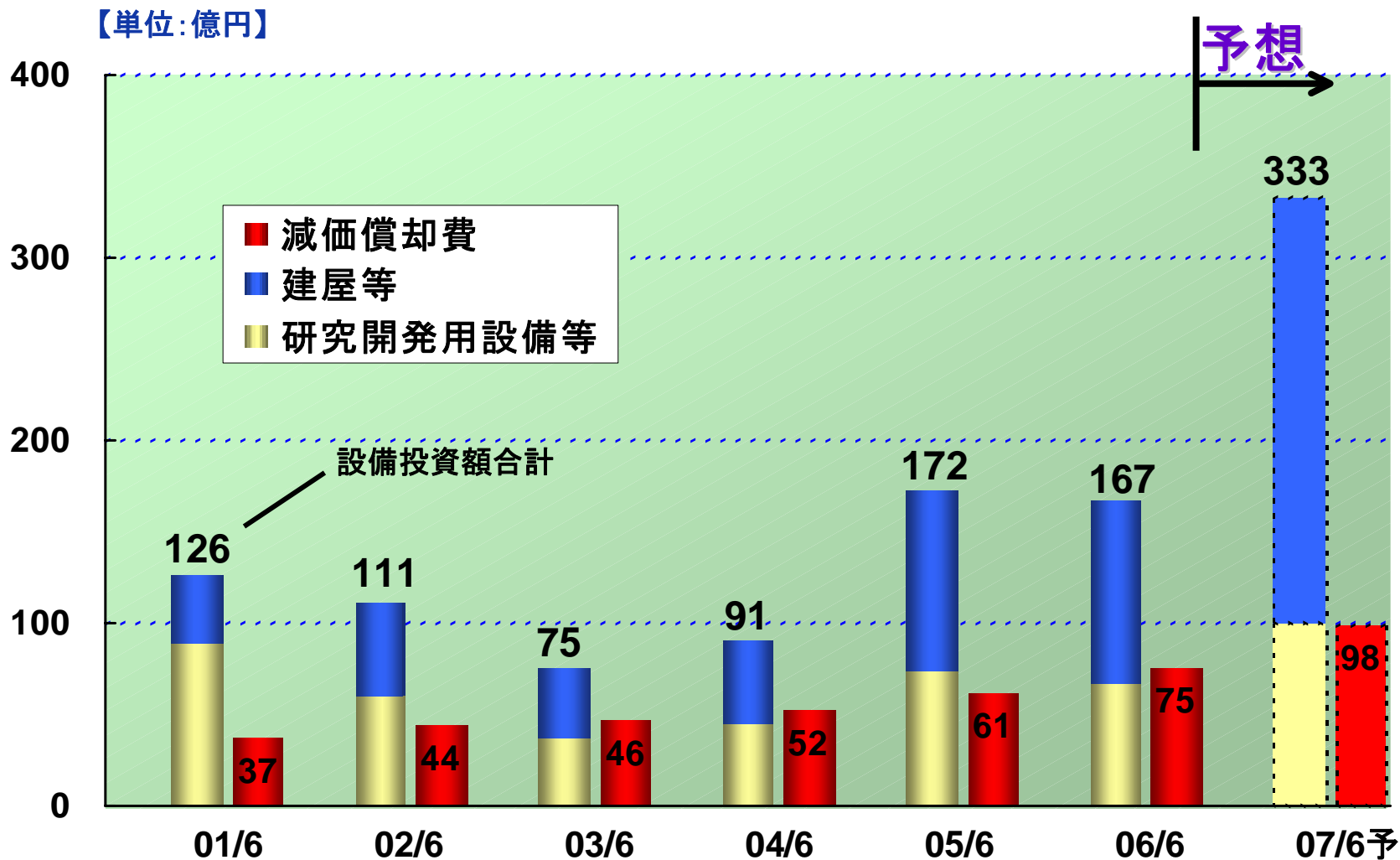


# 液晶ディスプレイ製造装置の世代の推移

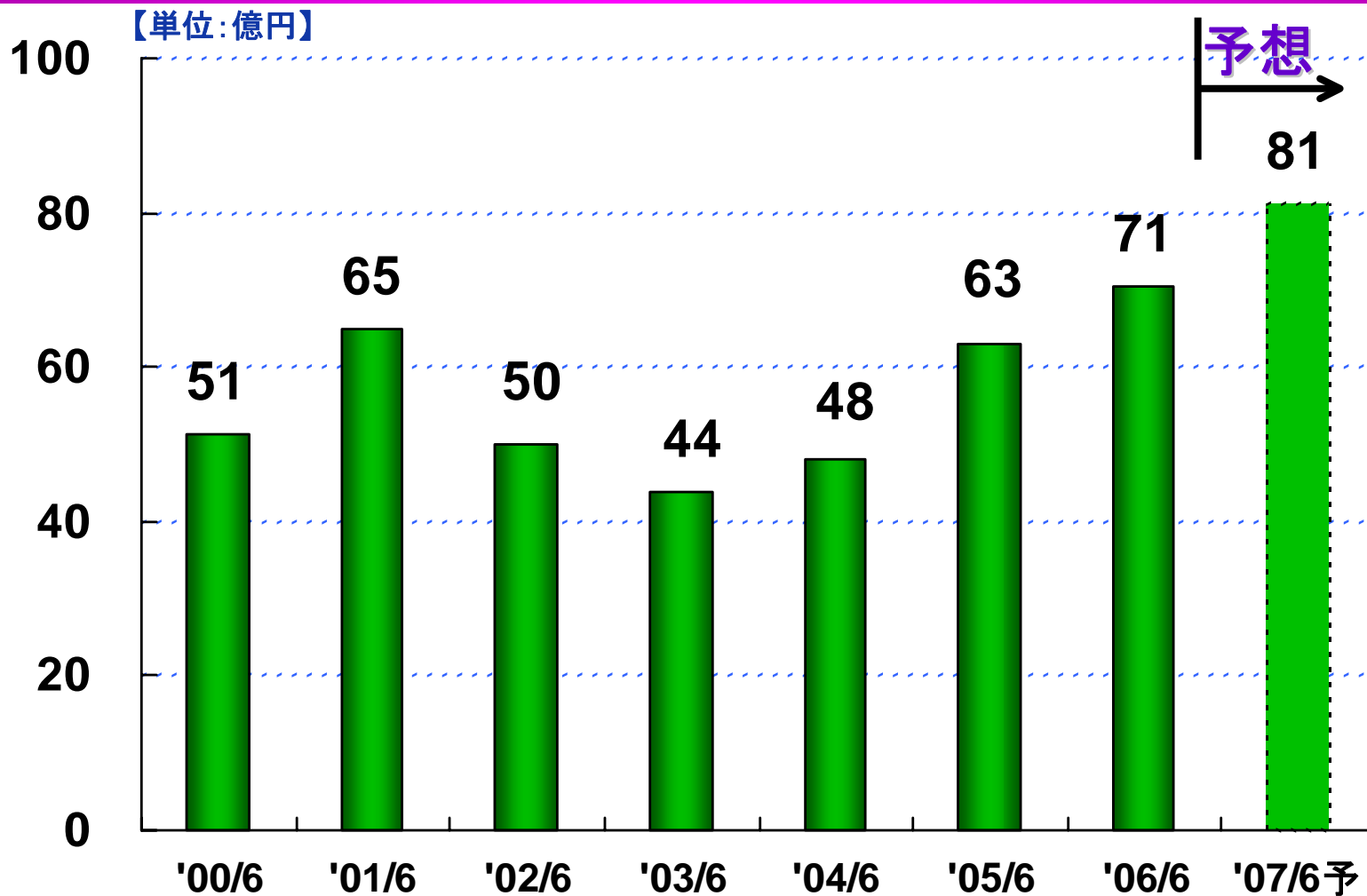




# 設備投資、減価償却費の推移



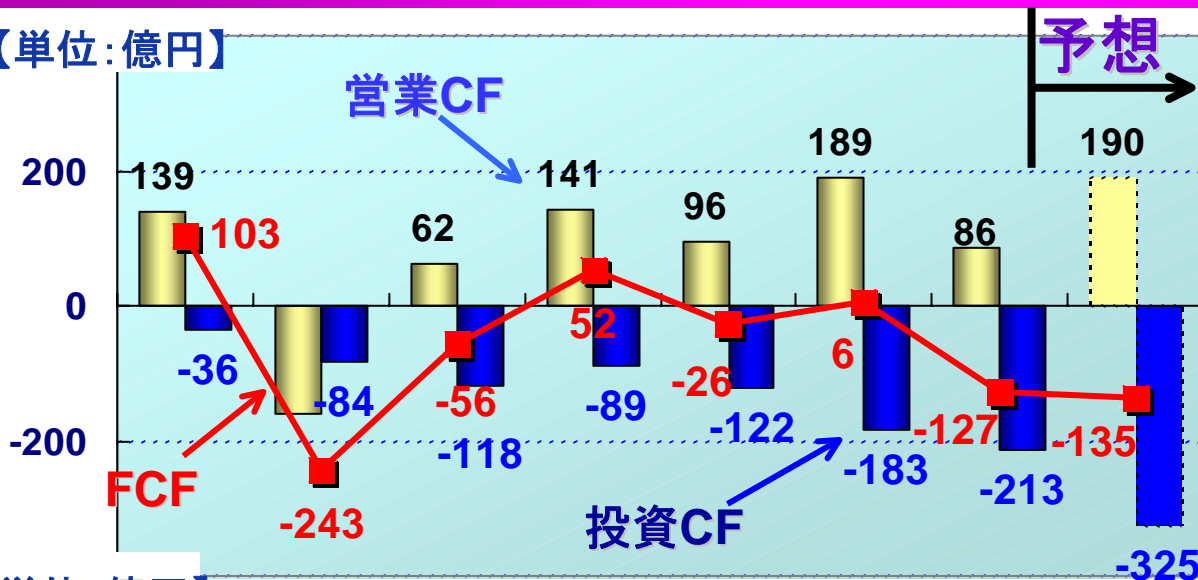
# 研究開発費の推移



【小数点以下は四捨五入】

## キャッシュ・フローと有利子負債の状況

【単位：億円】



営業CF: 190億円

- ・利益増加及び資金効率を高め営業CFの増加に注力

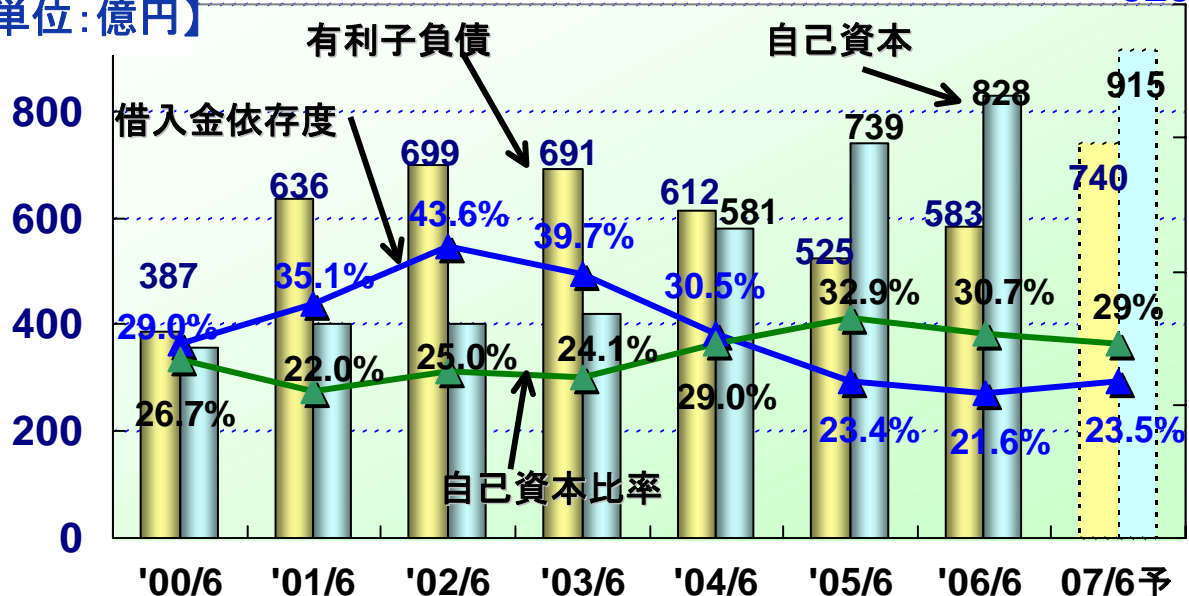
投資CF: △325億円

成長戦略投資を実施

- ・生産能力の増強
- ・試作開発ラインの増設
- ・研究開発設備等

09/6期以降はFCFの範囲内で成長投資を続行する

【単位：億円】



# 主な新設、増設工場(国内)

## FPD増産対応

- ・ODFなどFPD製造装置工場新設



(愛知県春日井市)

## FPD増産対応

- ・部品表面処理センター新設



(茅ヶ崎市)

## ポストFPD

- ・ターゲット材製造工場増設
- ・産業機器用製造工場増設



(青森県八戸市)

## ポストFPD

- ・ターゲット材製造工場新設
- ・千葉超材料研究所新設



(千葉県富里市)

## 生産集約

- ・小型真空ポンプ製造工場増設



(宮崎県西都市)

## ポストFPD

- ・ポストFPD製造装置試作開発拠点リニューアル



(茅ヶ崎本社・工場)

# 主な新設、増設工場および新拠点（海外）

## ポストFPD

韓国・坡州(パジュ)  
カスタマーサポート拠点新設

## FPD増産対応

クリーンルーム増設  
部品加工設備増設



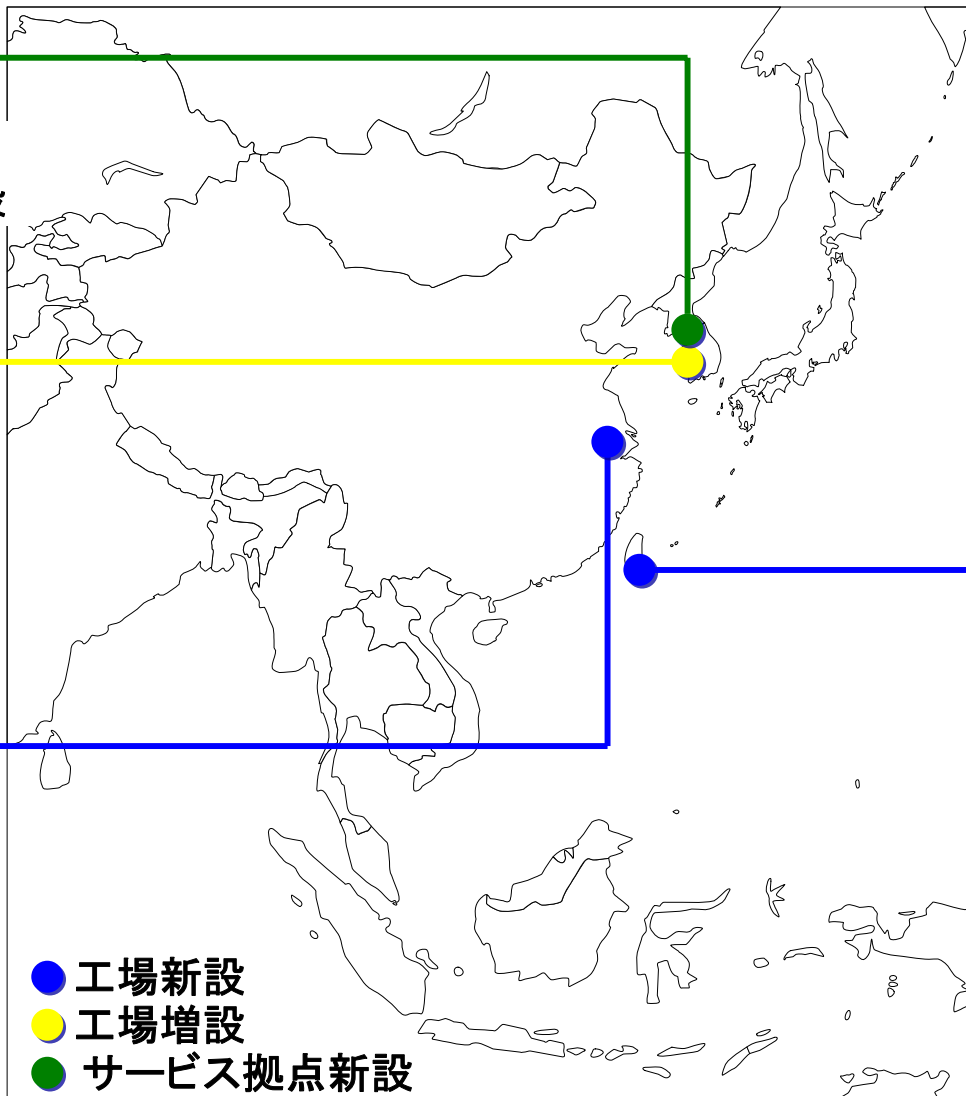
(韓国・平澤市)

## ポストFPD

中国統括管理会社  
制御盤製造工場新設他



(中国・上海市)



- 工場新設
- 工場増設
- サービス拠点新設

## FPD増産対応

FPD製造装置工場新設



(台湾・台南)

制御盤製造工場新設



## ポストFPD

部品洗浄、部品加工  
工場新設



(台湾・台南)

- 2006年6月期連結業績の概要
- 市場環境
- 2007年6月期連結業績予想
- **中長期の事業戦略**

# 事業戦略

**受注拡大**

アルバックソリューションズの展開で受注拡大

**コストダウン  
生産改革推進**

**新商品開発**

独創的最先端の新製品を開発

**グローバル化**

中国、韓国、台湾で積極的に事業展開

**財務戦略**

営業キャッシュ・フローの獲得

**ポストFPD戦略**

4つの柱を積極的に推進



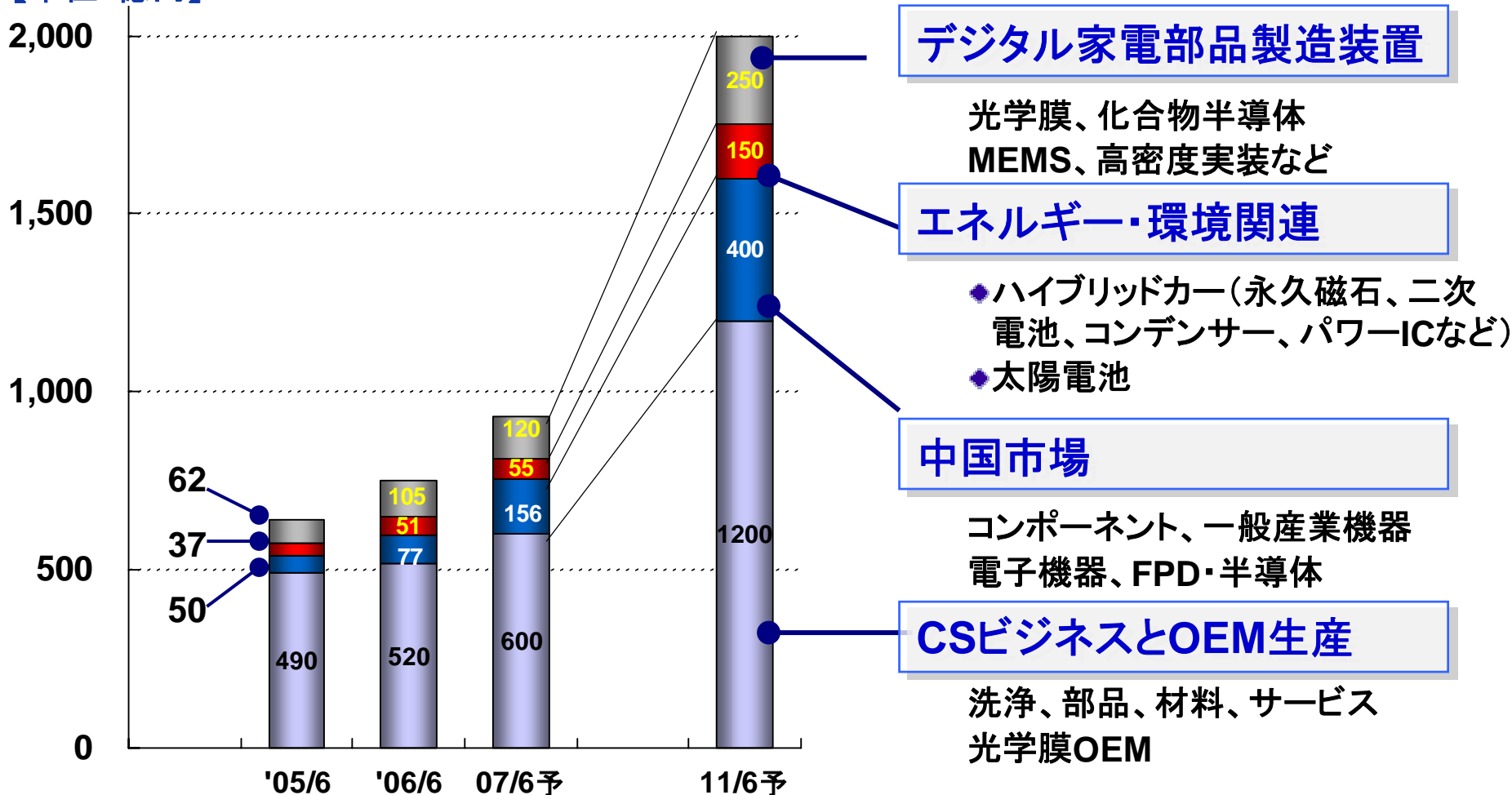
# 中長期の事業戦略

- デジタル家電(薄型TVなど)向け装置を中心に受注増をめざす
  - ▶ 増加する製造負荷や装置大型化に対応するインフラ整備への設備投資を実施
- FPDの設備投資の成長はいずれ鈍化。FPDの次に成長する柱をつくる。(ポストFPD戦略)
  - ◆ MEMS、化合物半導体などのデジタル家電部品製造装置
  - ◆ エネルギー・環境関連装置(ハイブリッドカー・太陽電池)
  - ◆ 世界の製造業を牽引する中国
  - ◆ 安定経営のためのカスタマーサポート(CS)とOEM生産



# ポストFPD戦略（受注目標）

【単位：億円】



【上記の各項目の目標受注額は一部重複して合算されています。また、目標受注額は事業規模を判断するための参考値で、当社の連結受注額に合算されない額も含まれています。】

# ULVAC

本日は  
ありがとうございました